





ったく...
朝から騒がしいんだから...



じゃあ
行ってきます...



金持ちというだけで結婚した
つまらない男…

家は広いし家事もあいつに
やらせてるから楽だけど



はあ〜あつ
退屈…

どすっ

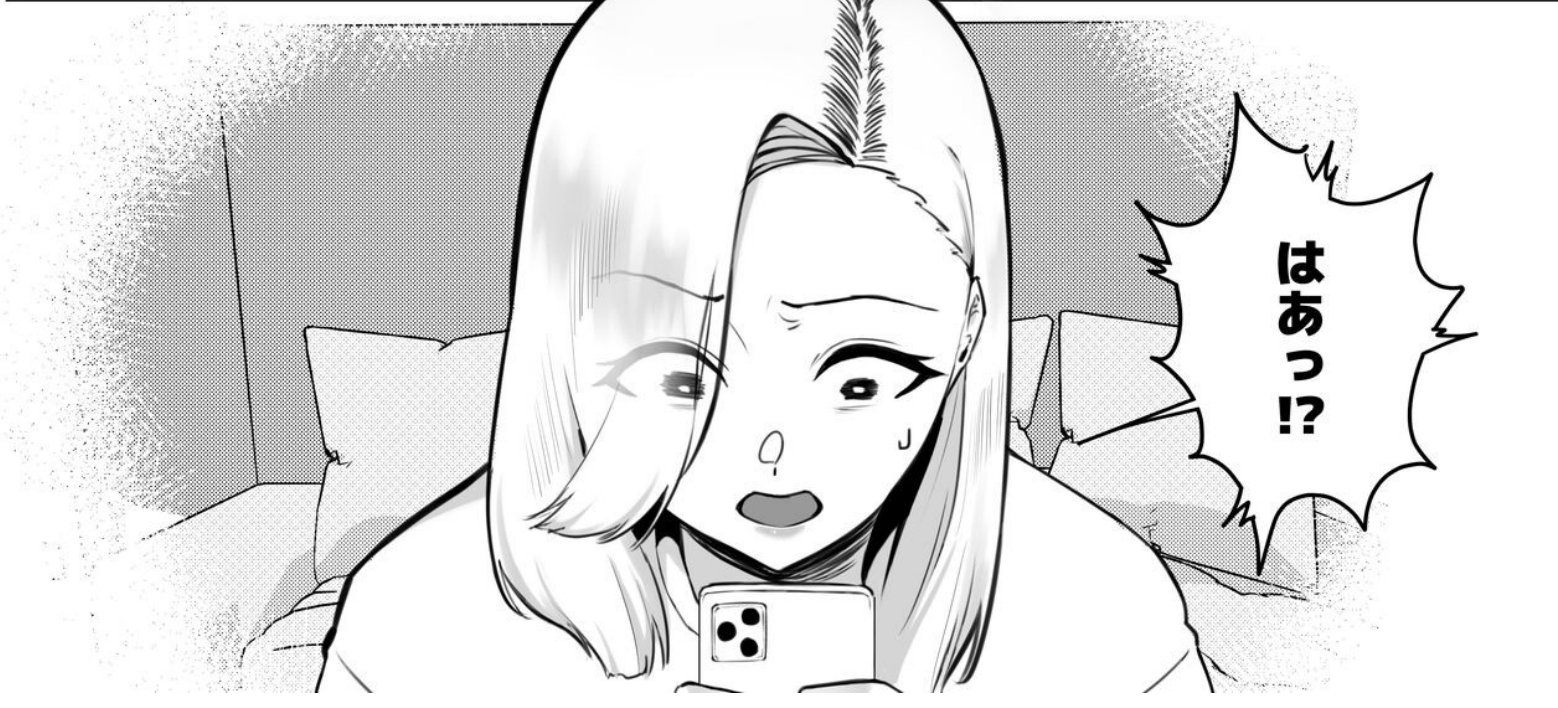


だから私が
少しくらい
男と遊んでも…



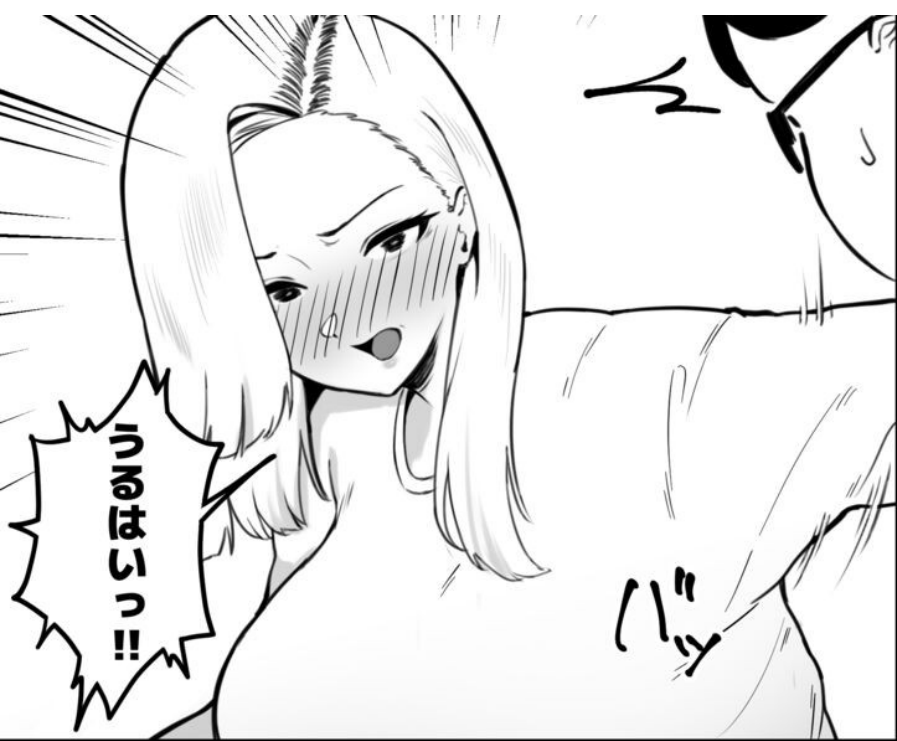
体だって一度も
許したことない

あんなトロくて
きつてもいやッ
見るだけで
イライラする



はあっ!?





アホなっ!!

ハッ

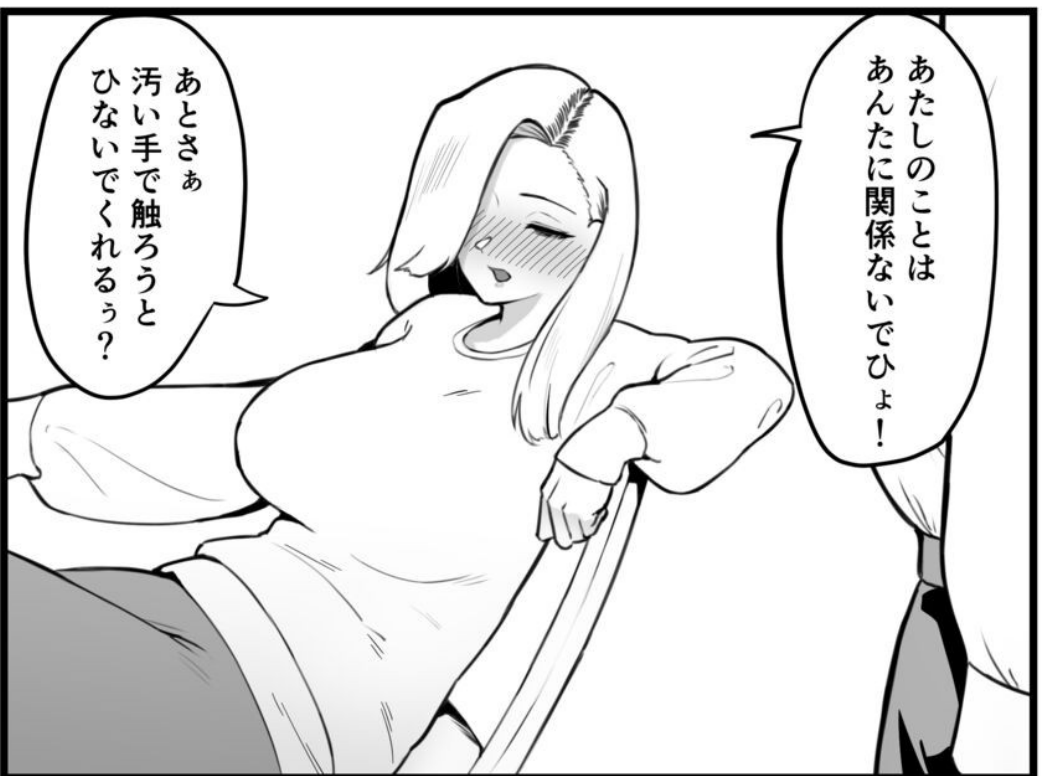


どうかしたの？
体調でも悪い？

す..



フ..



あとさあ
汚い手で触ろうと
ひないでくれるう？

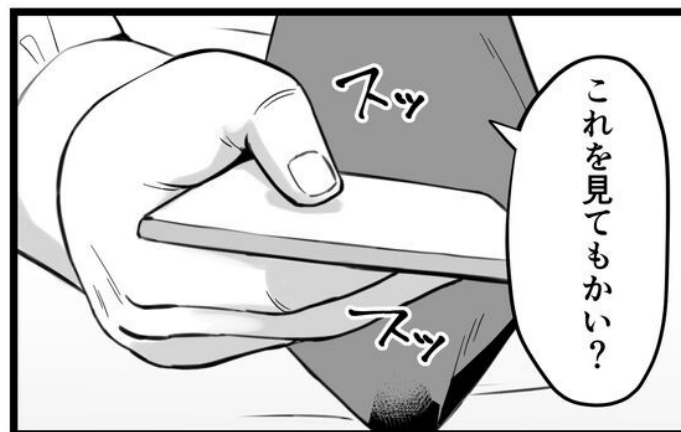
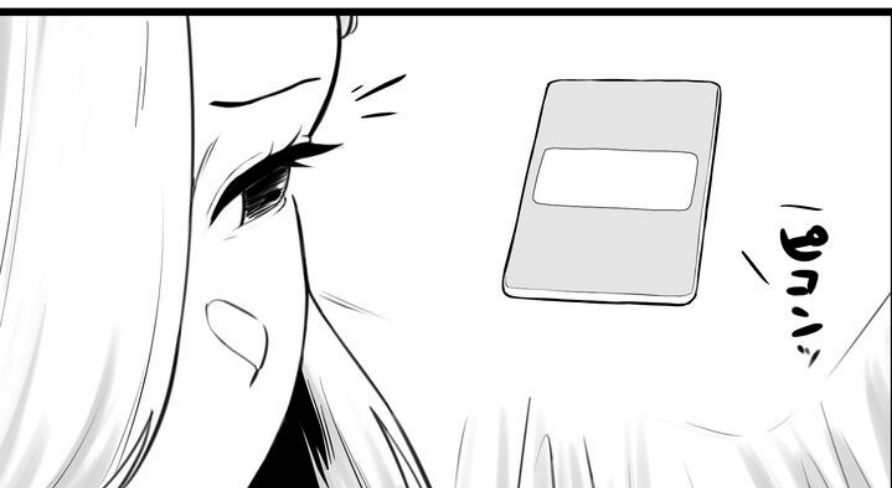
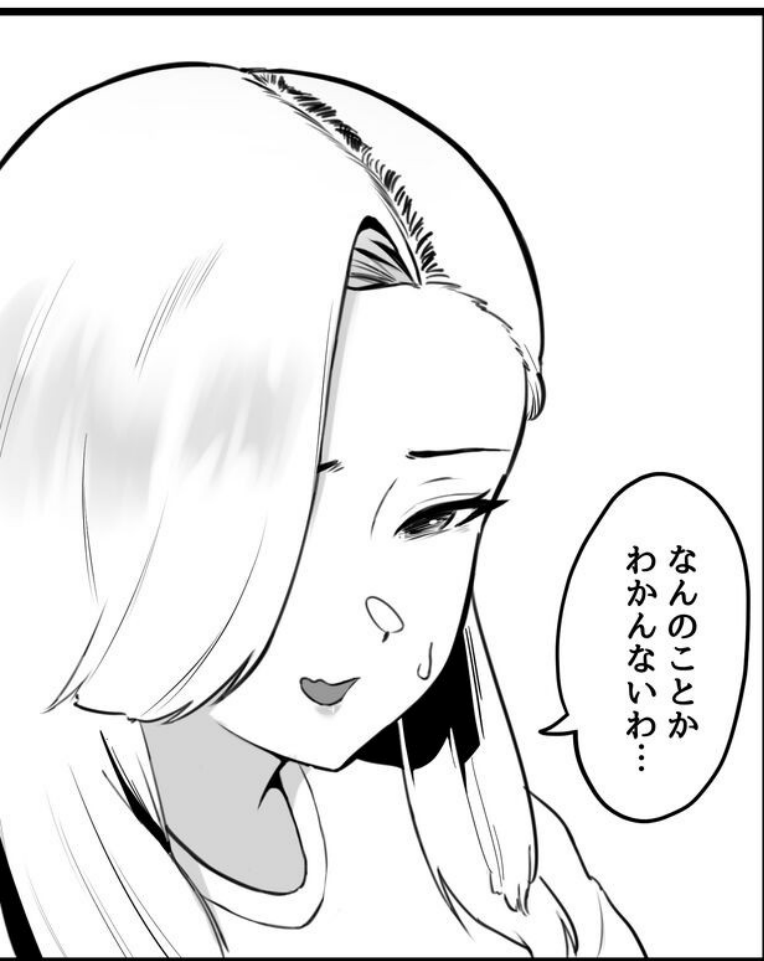
あたしのことは
あんたに関係ないでひよ!

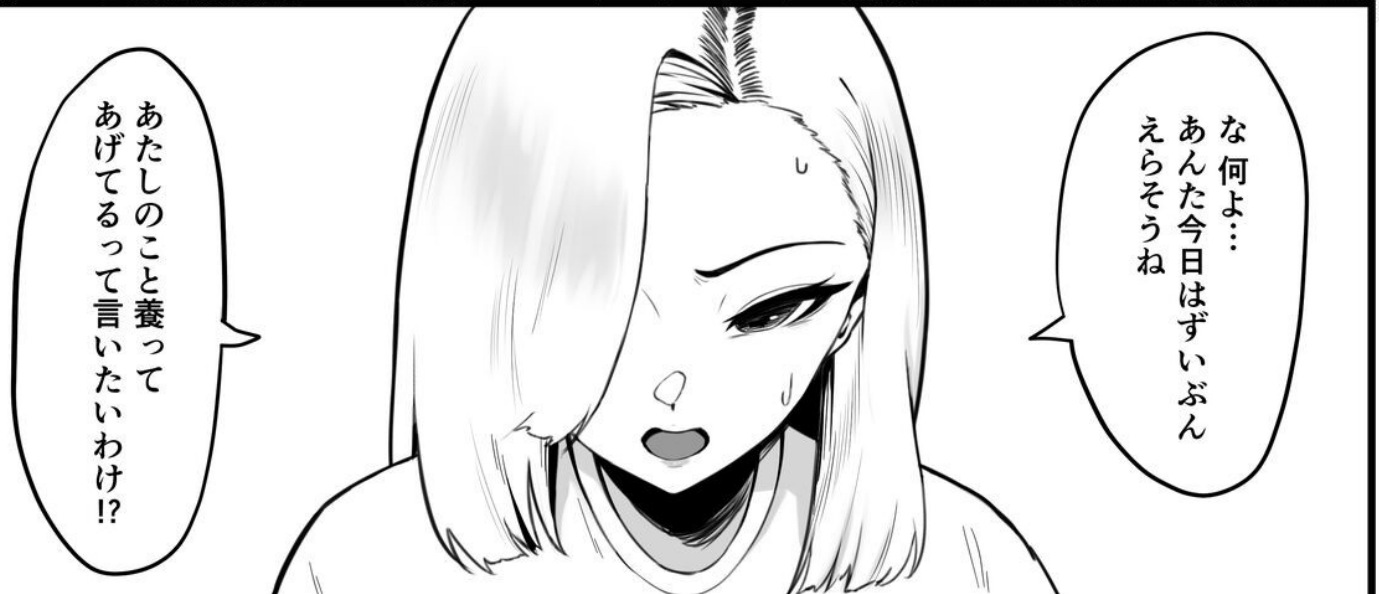


彼氏に振られたのが
そんなにショック
だったのかい？

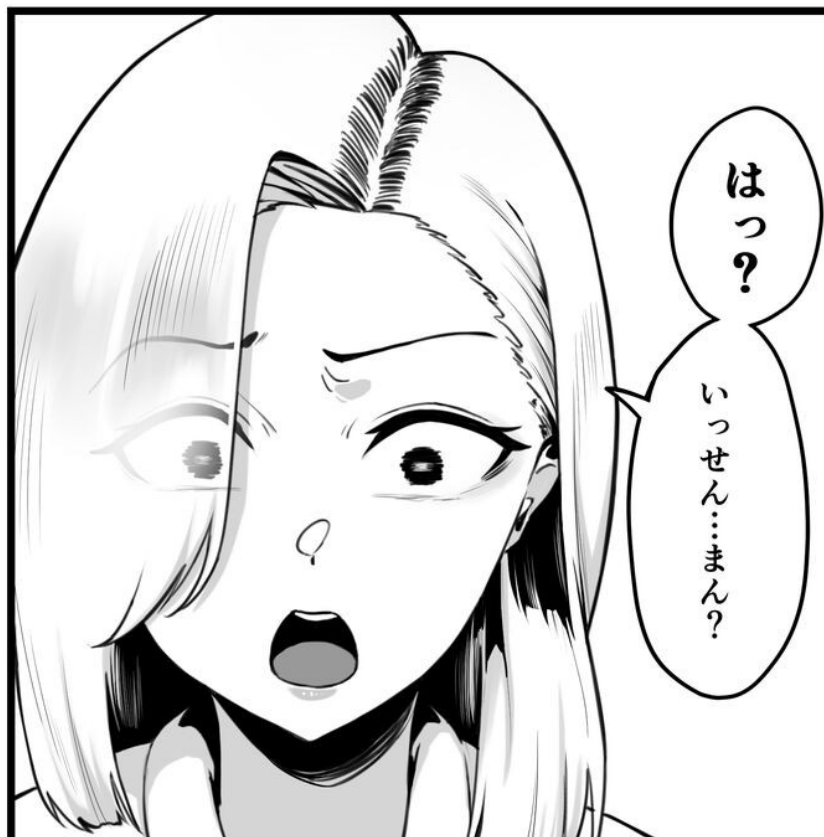


オホ..









ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡

あたし
貯金とかないのに…

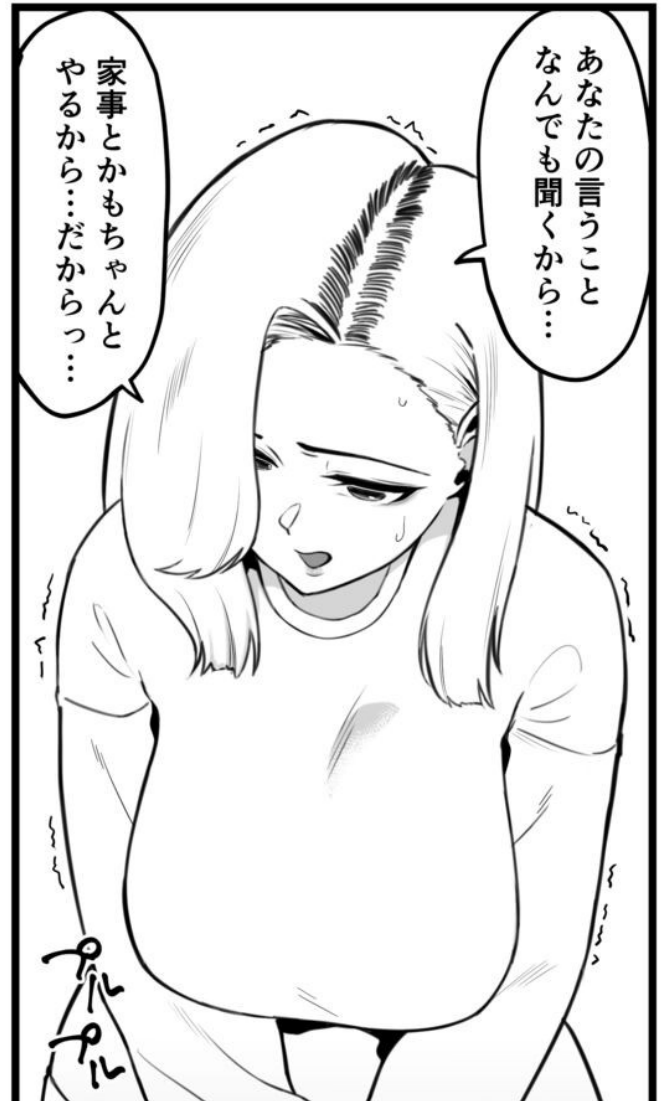
そんなことされたら
死んじゃうわよ!!

男のところにでも行けば
いいじゃないかい？

あっもう振られたんだったね

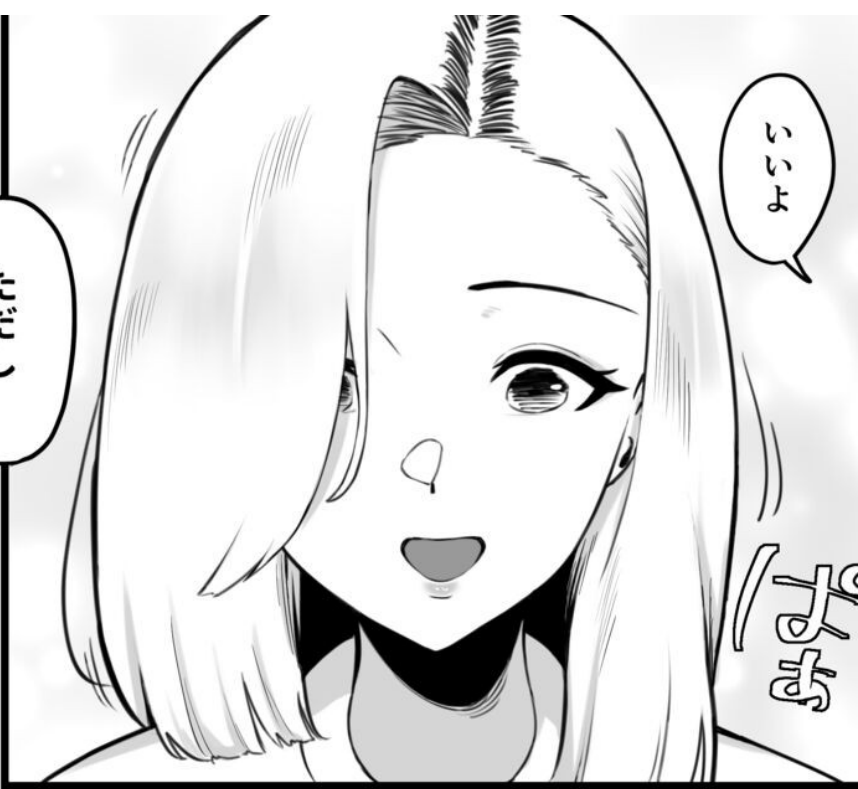
ちゅっ♡

……



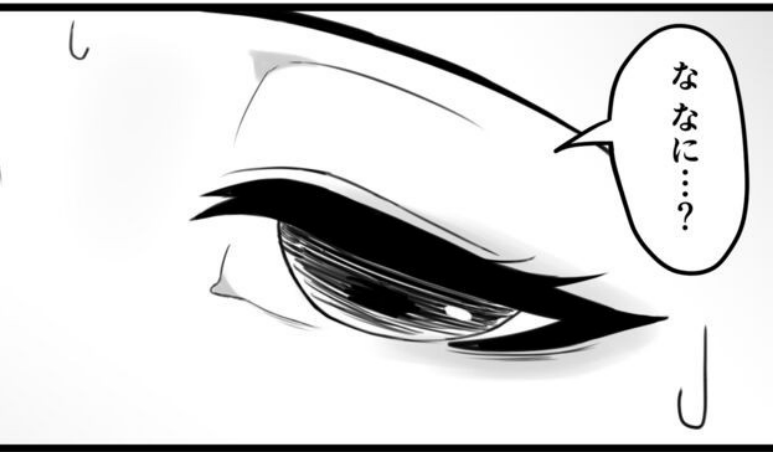


ただし

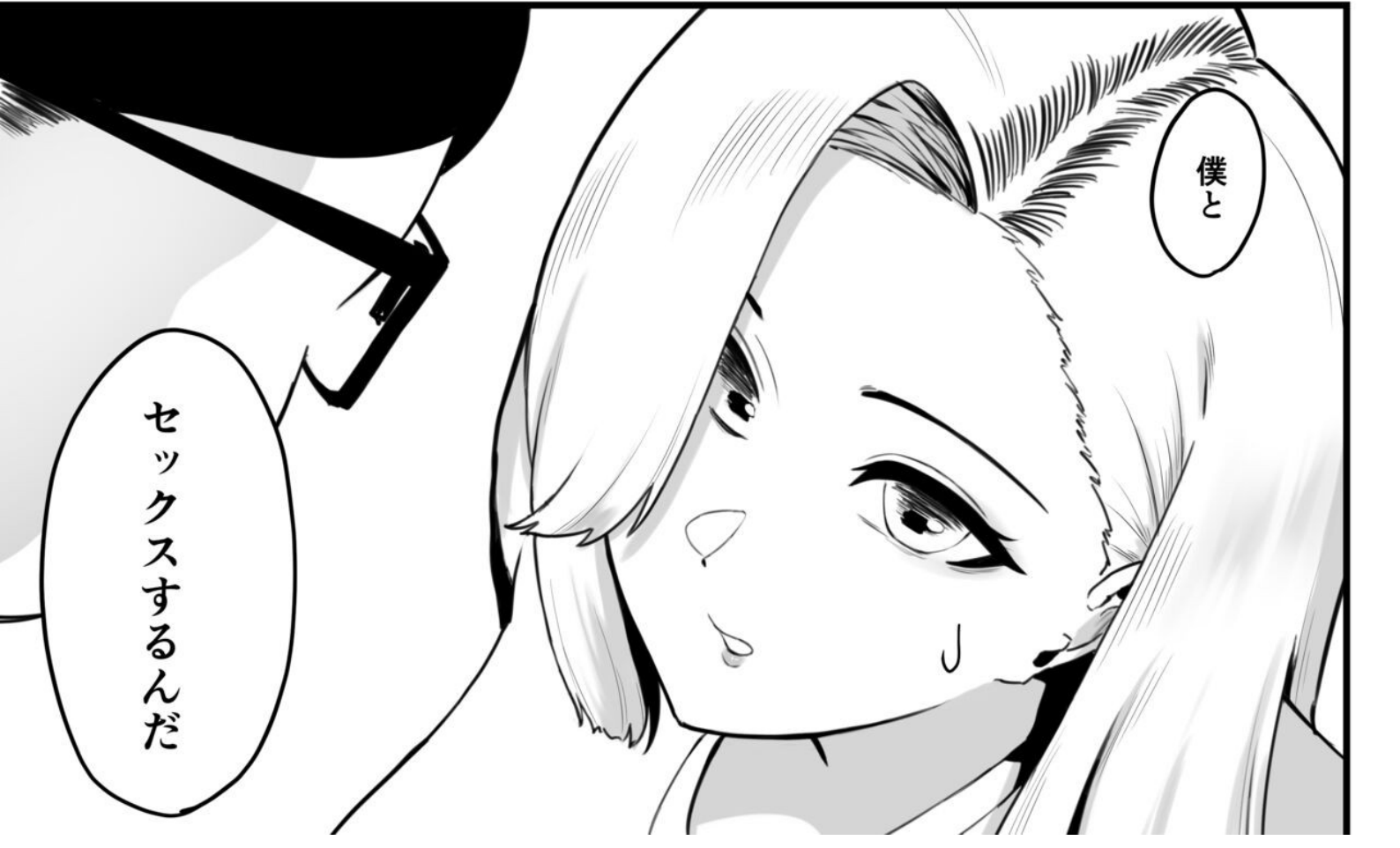


5548

はあ

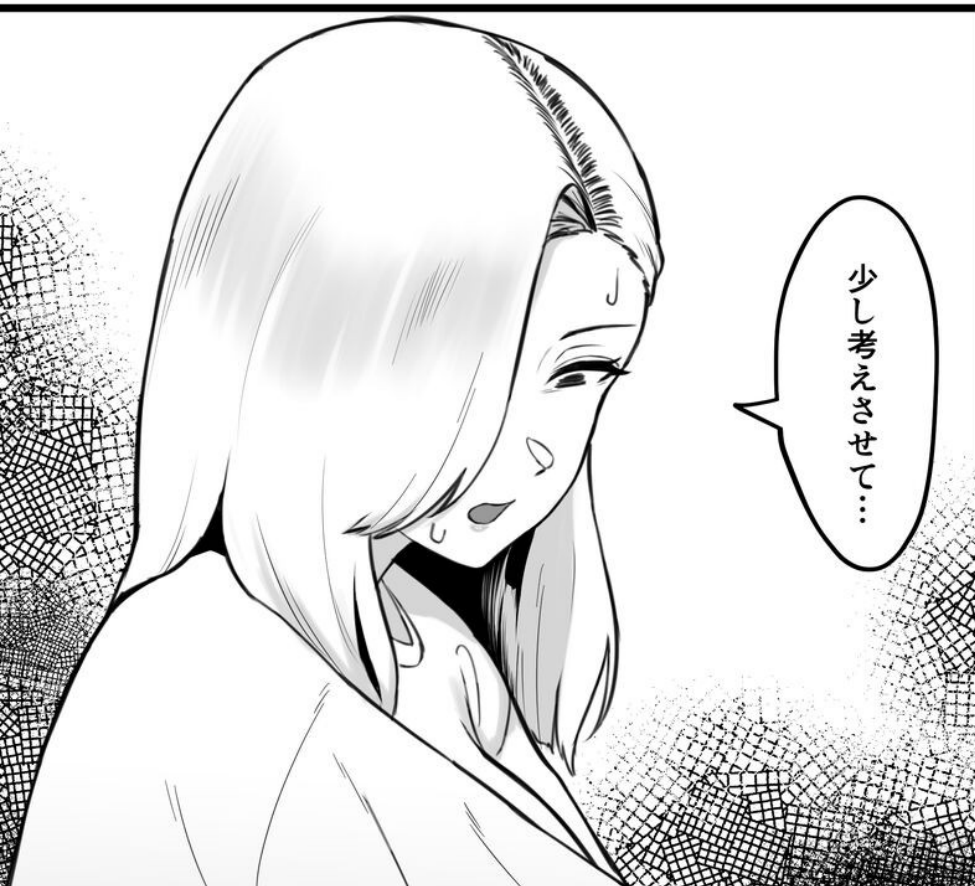
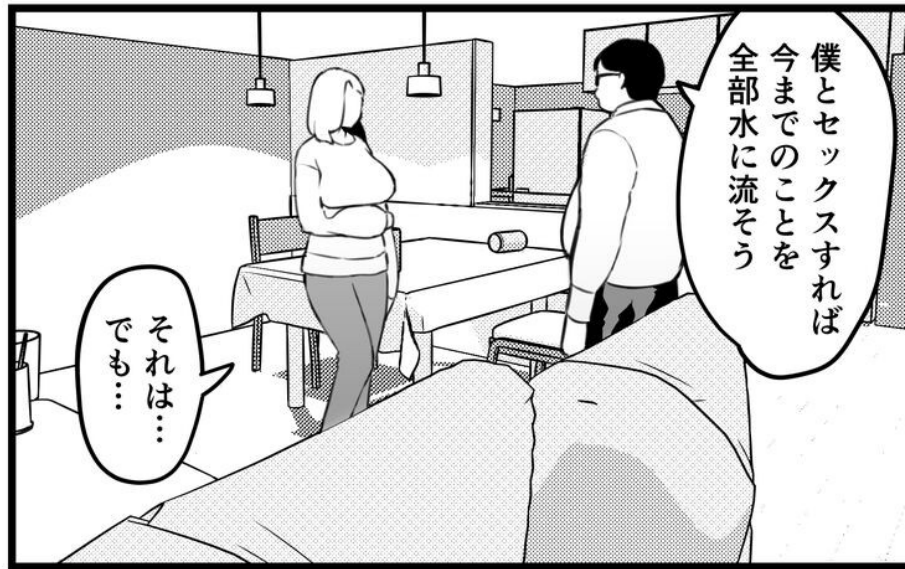
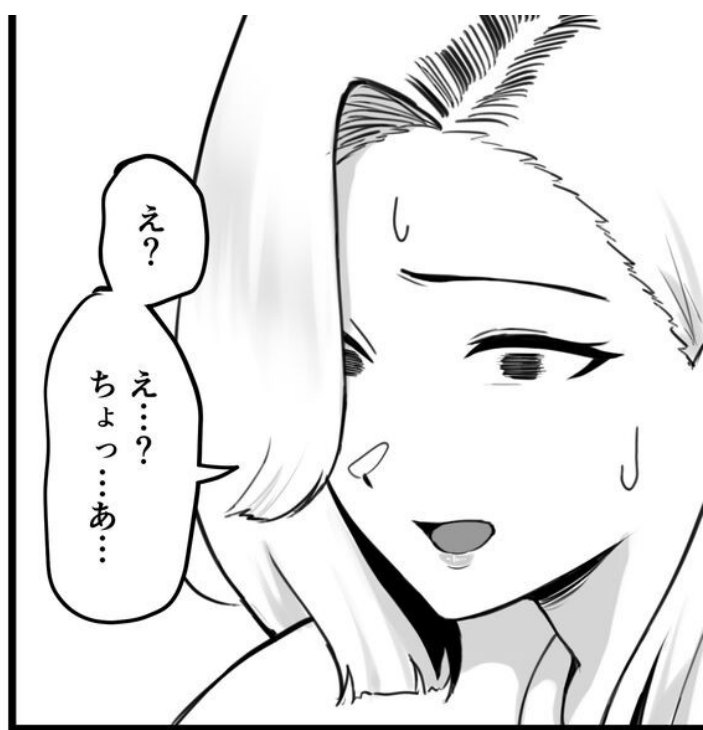
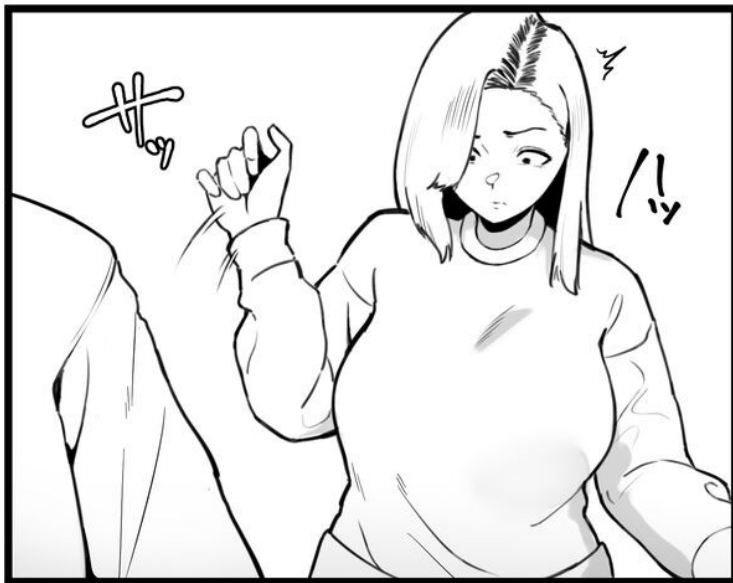


なにに...?



僕と

セックスするんだ





ここに通帳があるはずなのに…

これもちがう…



これじゃない…

ガサ

ゴソ



ありえないっ…
なんであたしがこんな目に
あわなきやいけないのよっ…!!

あんなキモいやつとするくらいなら
死んだほうがマシよ!!



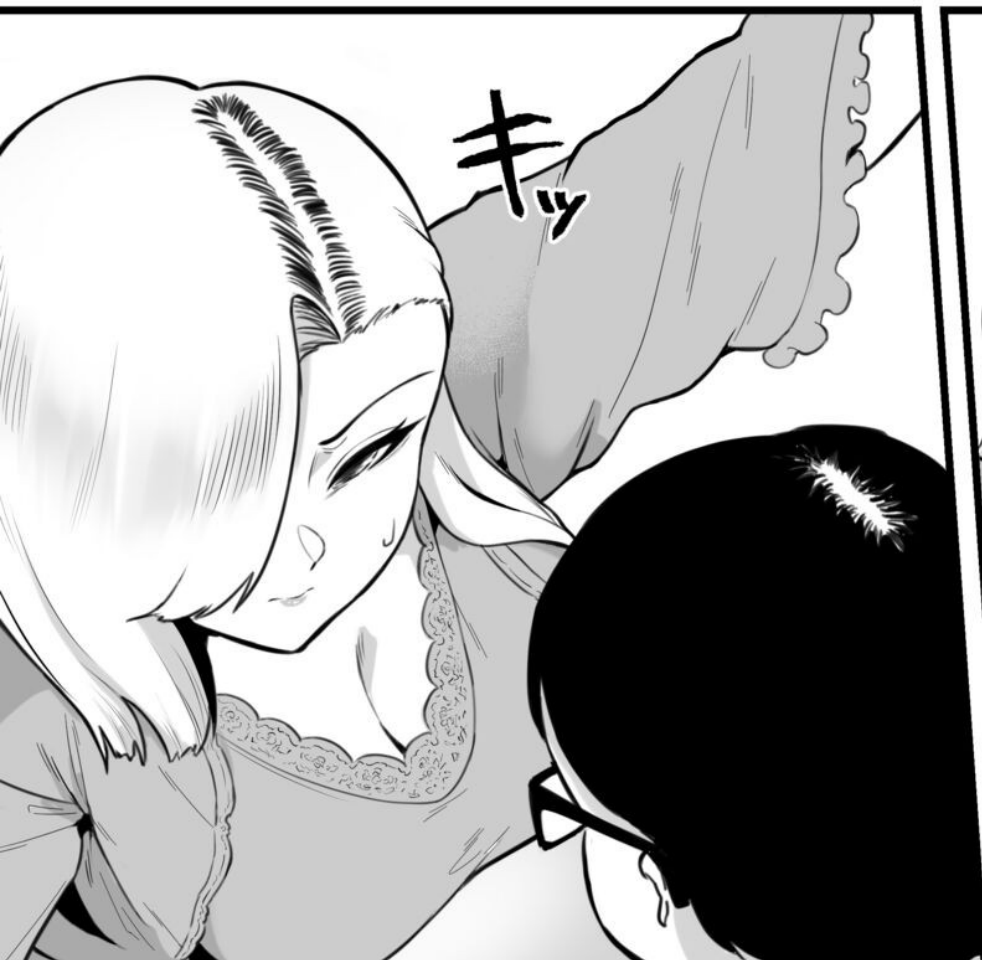
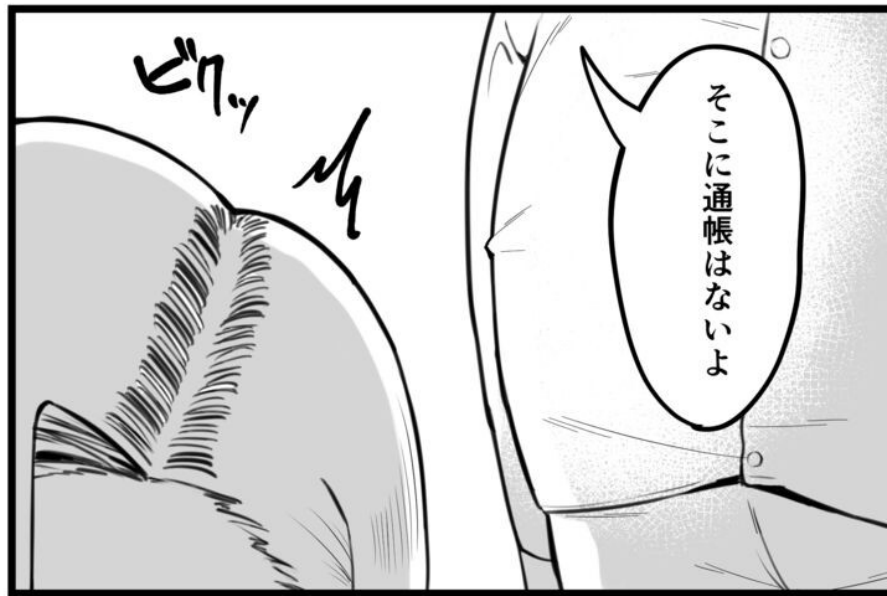
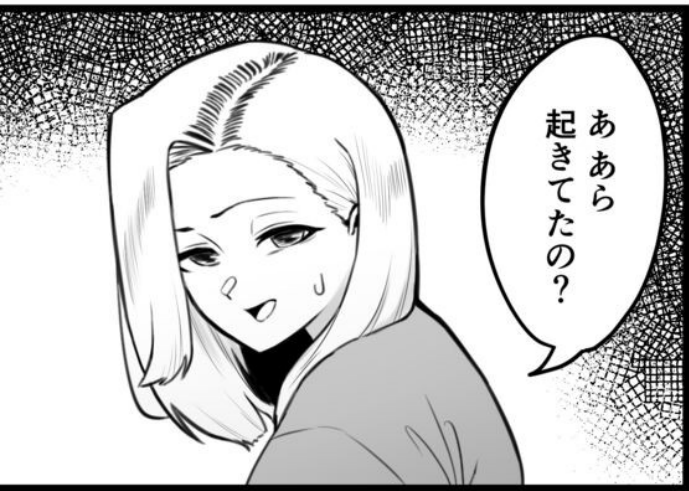
ガサ!

ガサ
ガサ



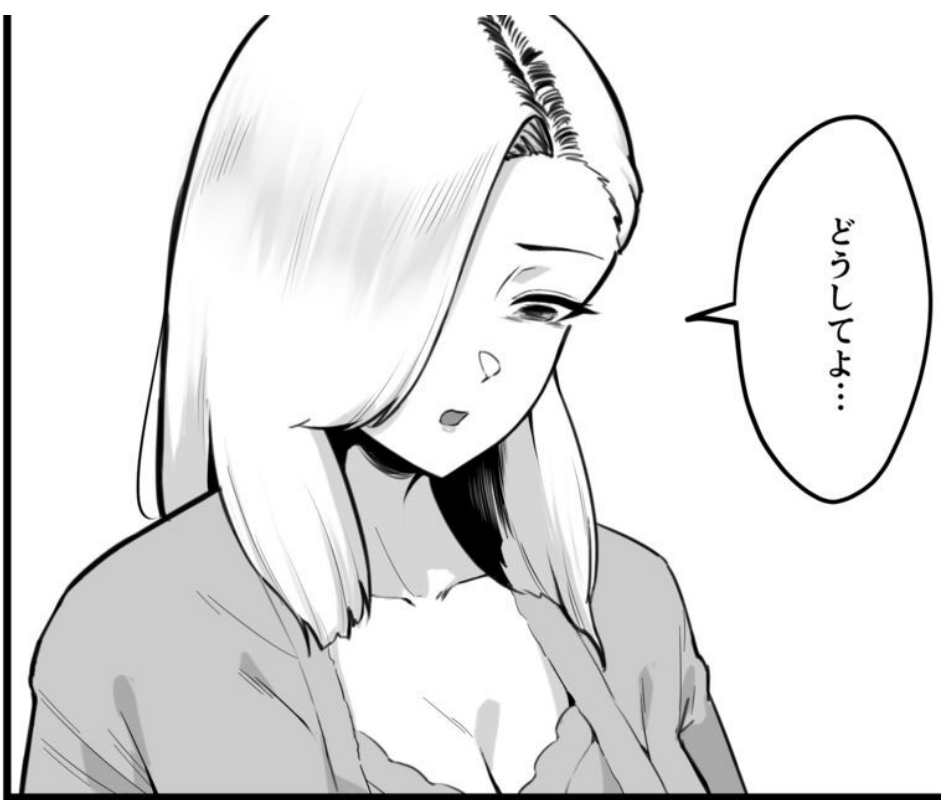
現金だけでも持って
逃げなきゃ…っ!

クレジットカードは
管理されてるから…





どうして
セックスなのよ…

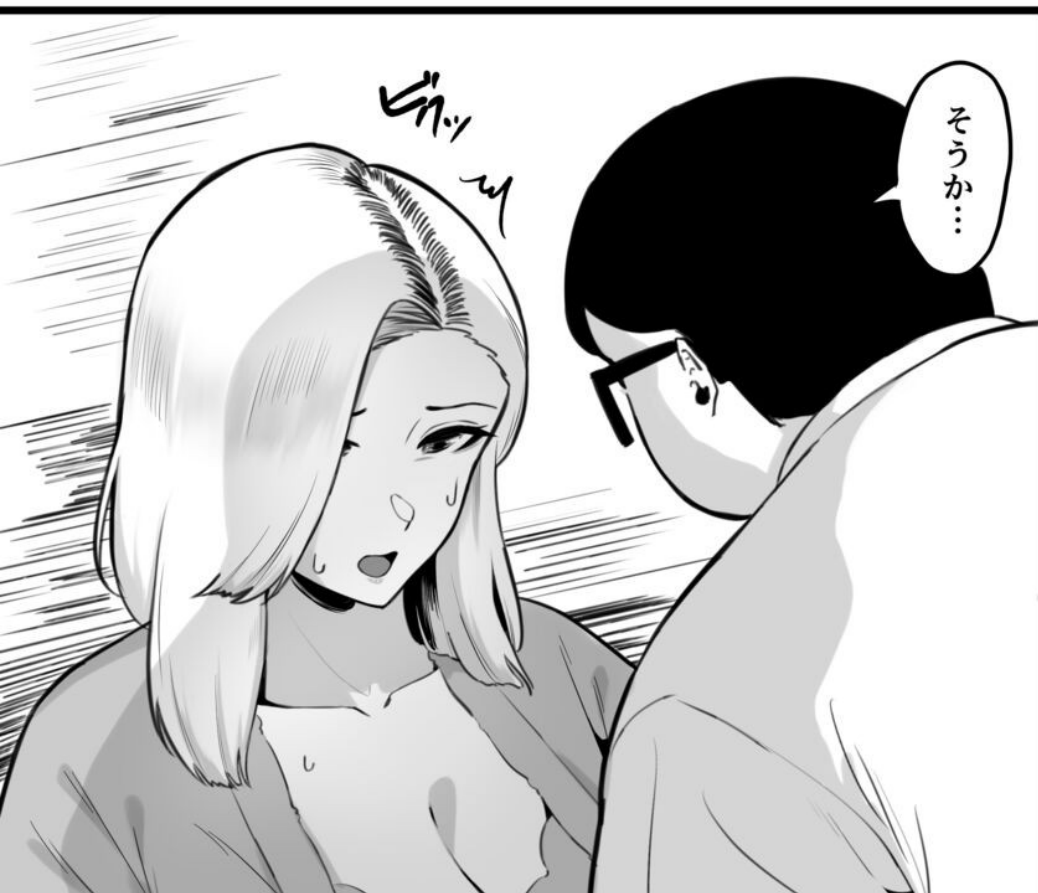


どうしてよ…



君こそ
ここまでしてもなぜ
身体を許してくれないんだ

僕たちは
夫婦じゃないのか？



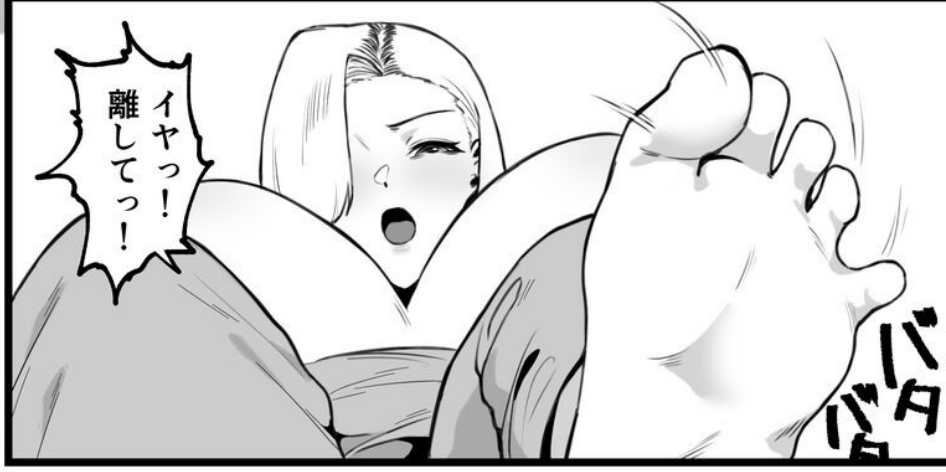
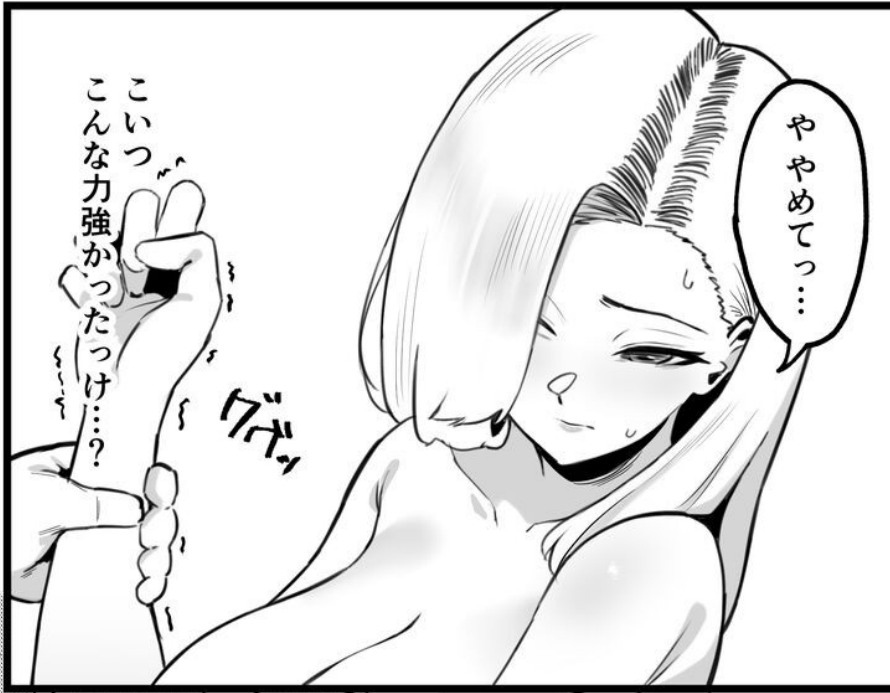
そうか…



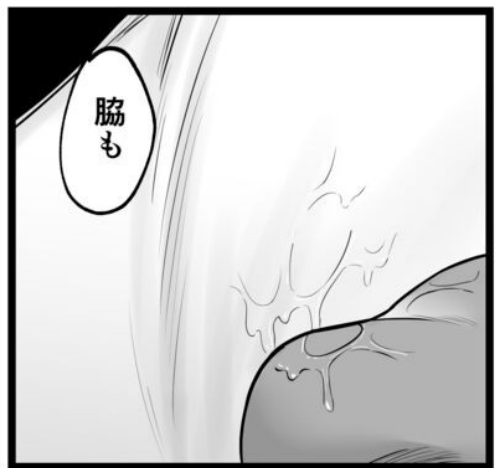
あんたなんてただの財布よ！
夫となんか
思ったこともないわよ！

ほんっとに気持ち悪いっ！！

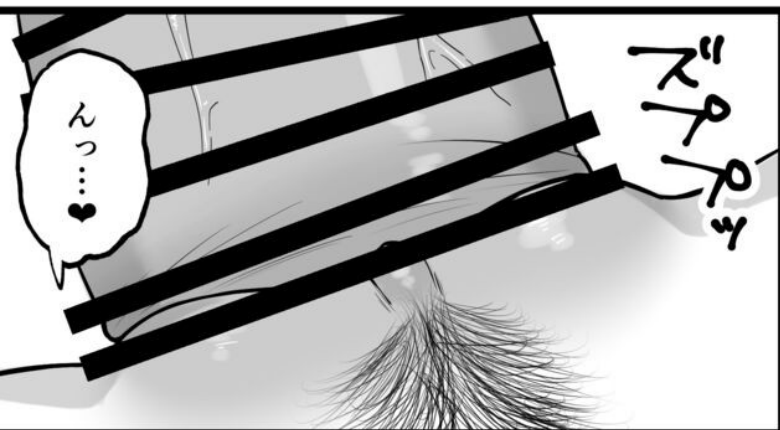
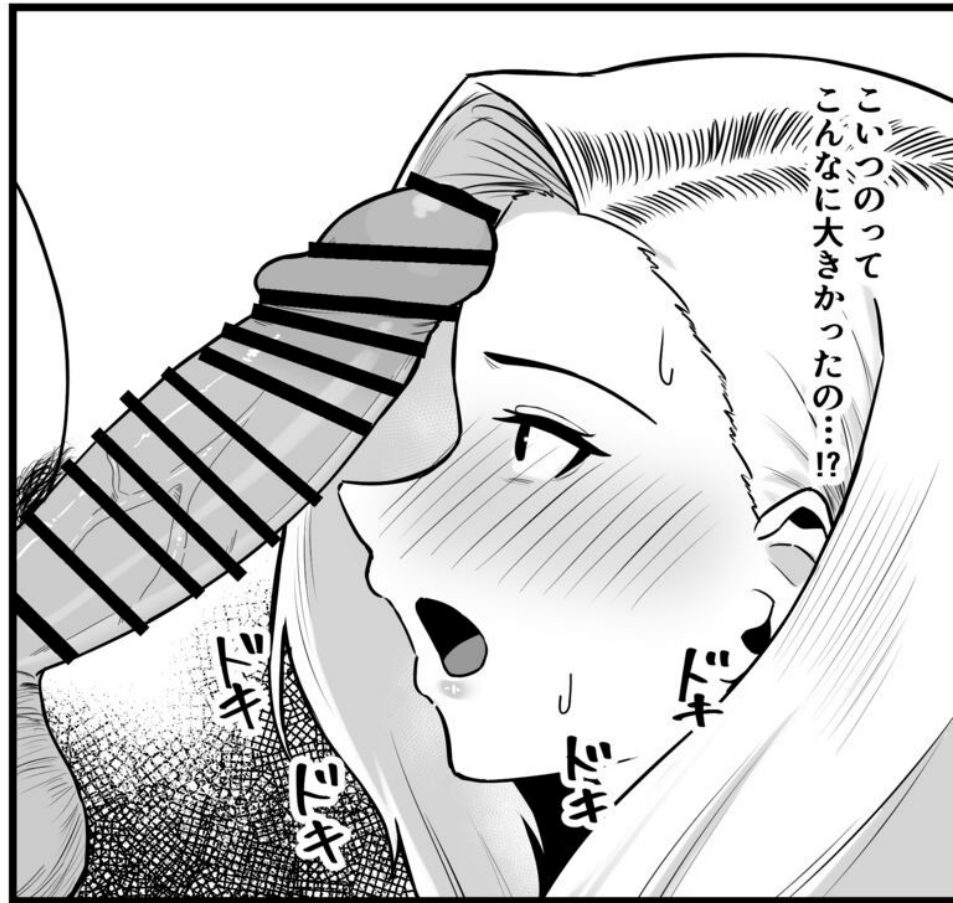
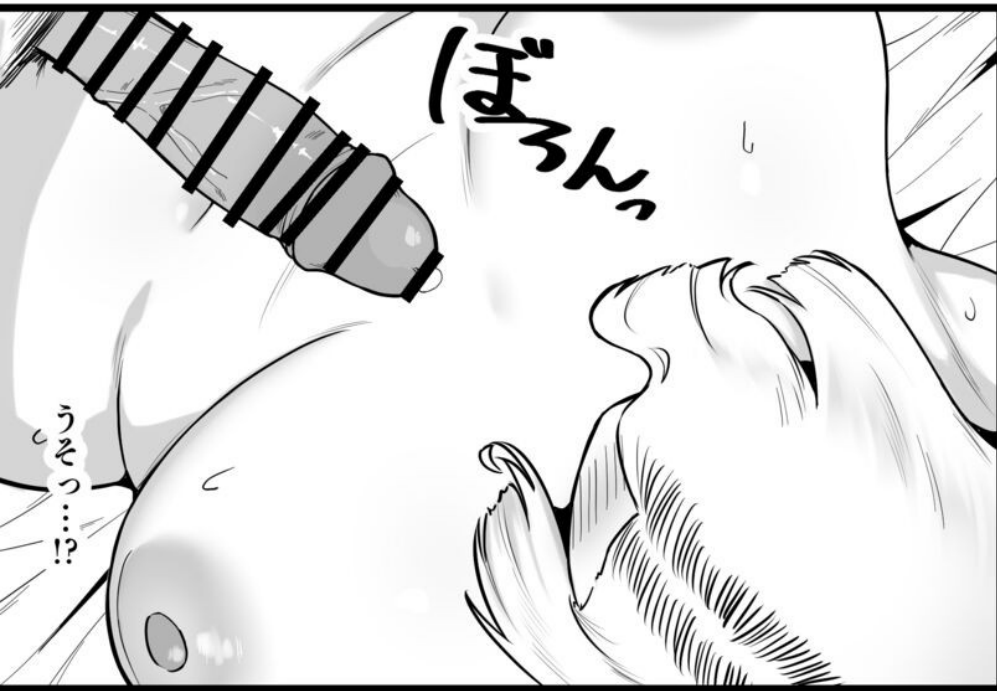


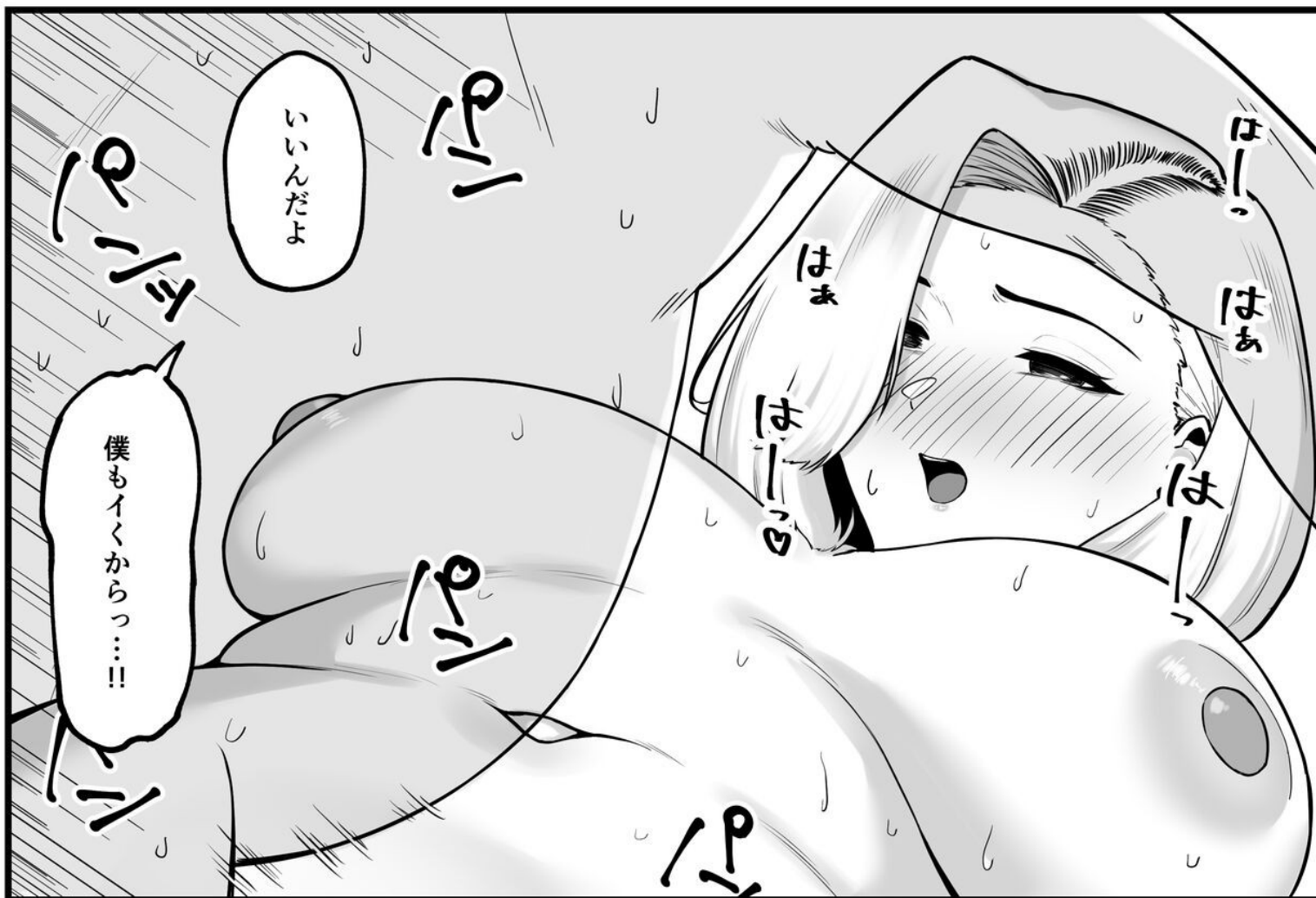


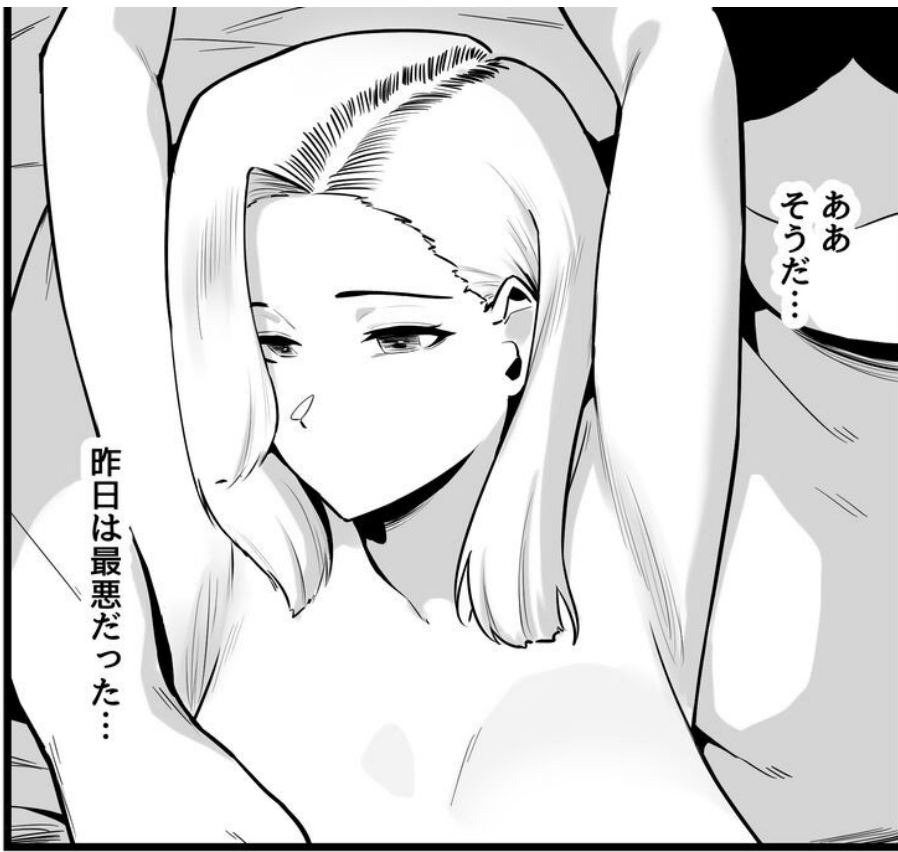






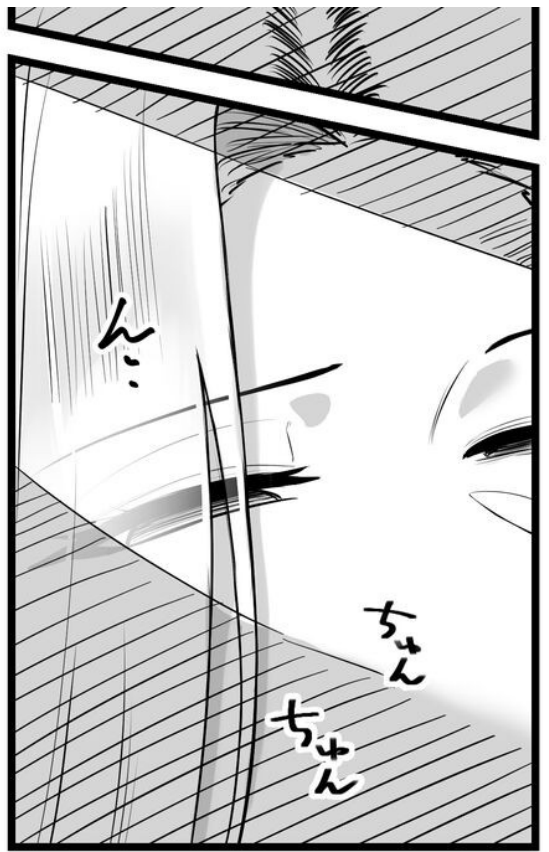






昨日は最悪だった...

ああ
そうだ...



ん...

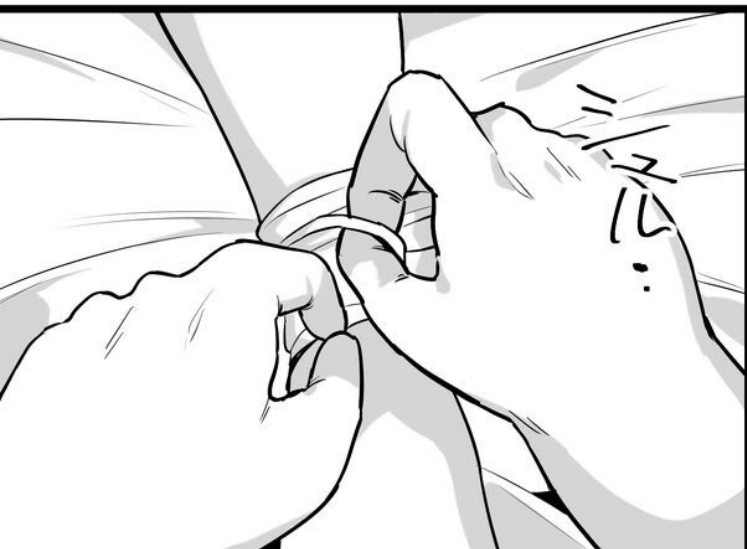
ちゃん
ちゃん



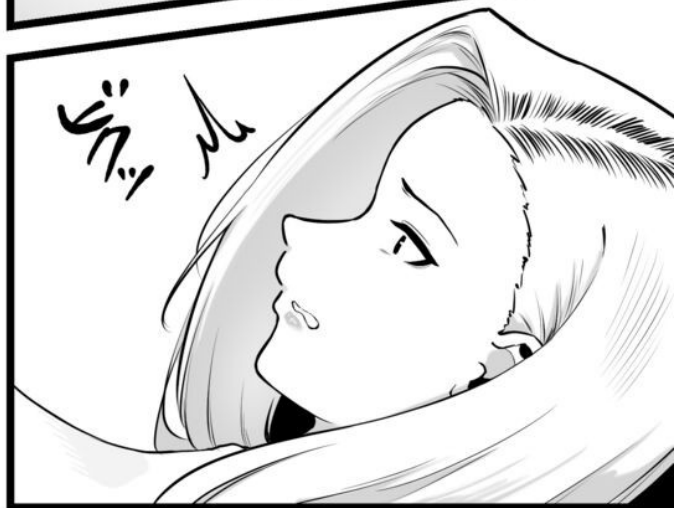
あ、ん...

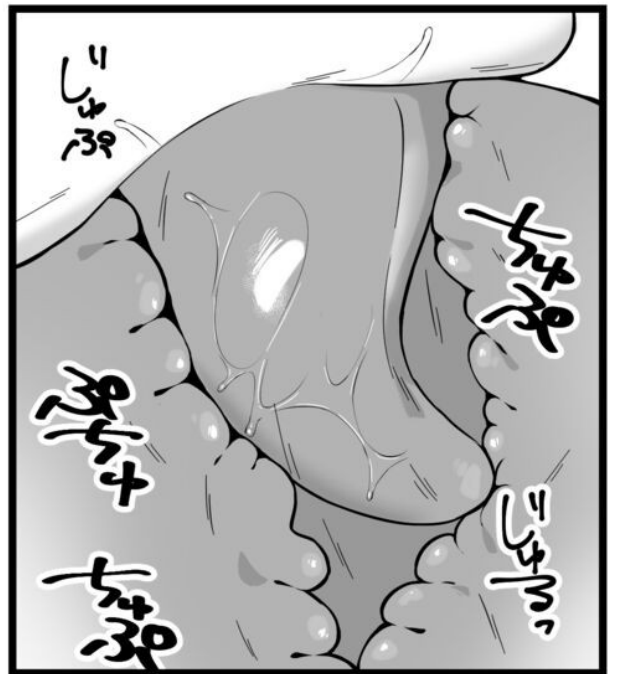
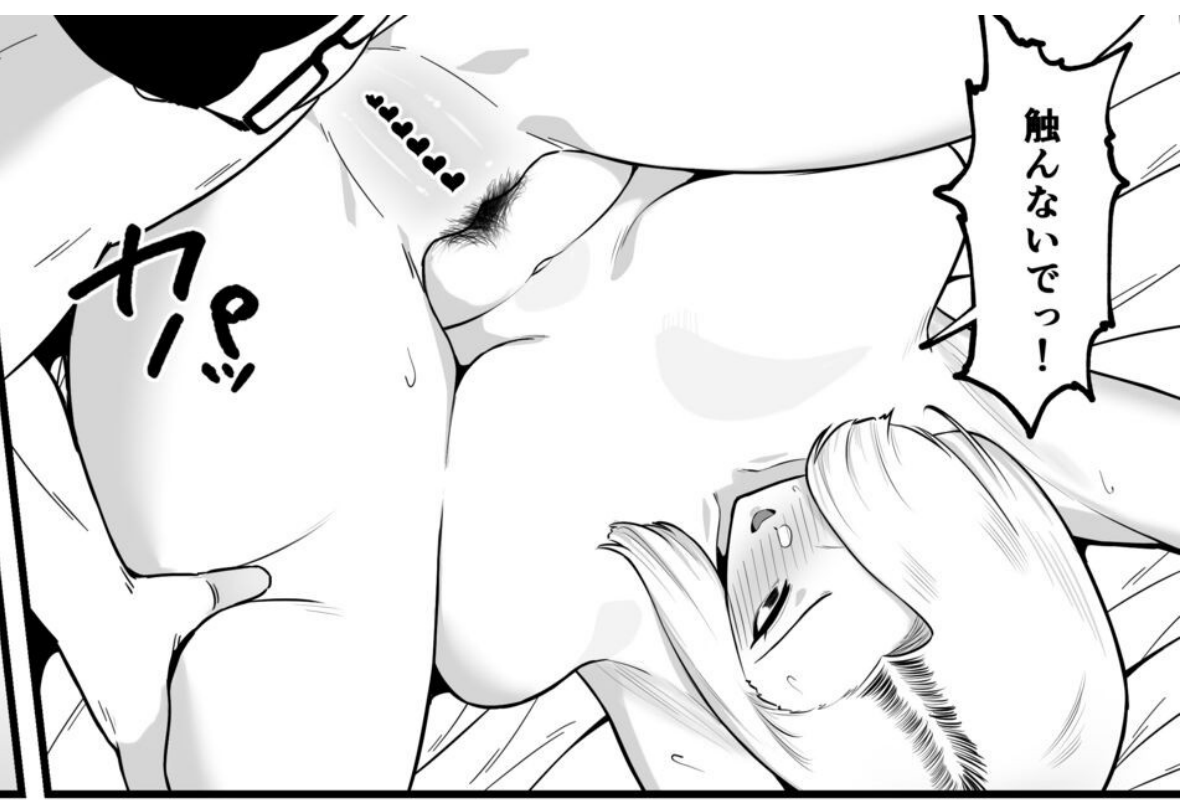


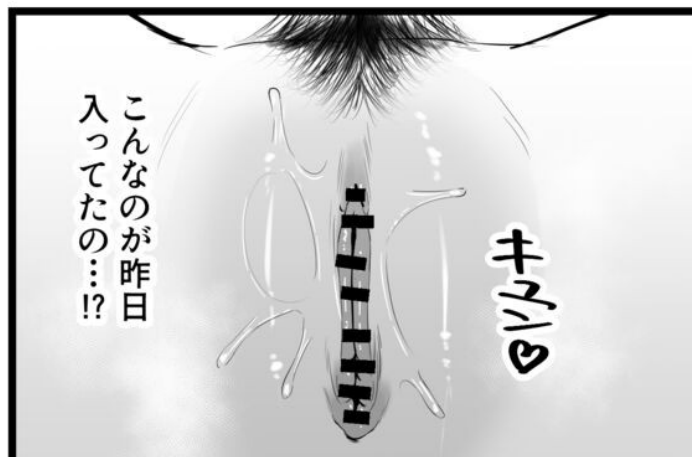
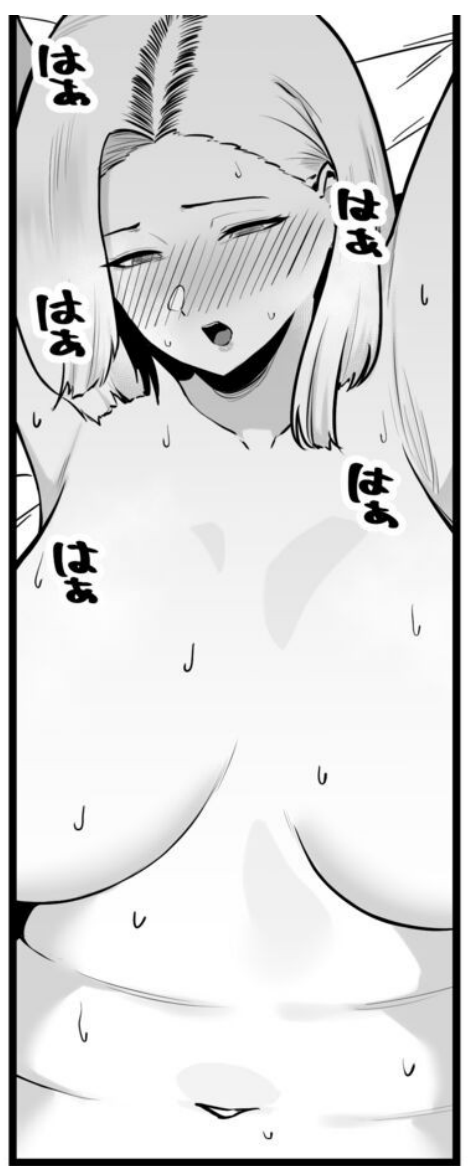
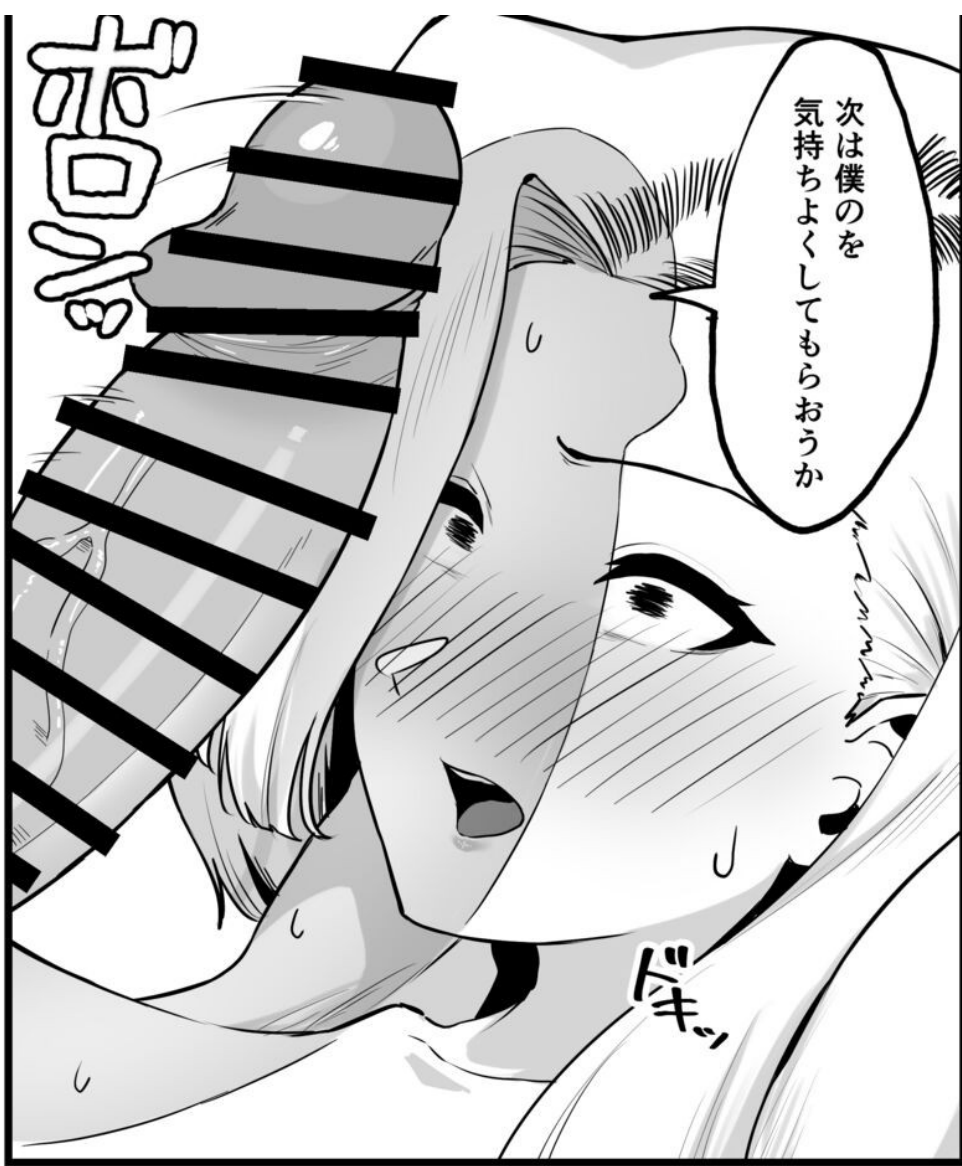
ちょっと!
手足の解いてよ
こすれて痛いんだけど?

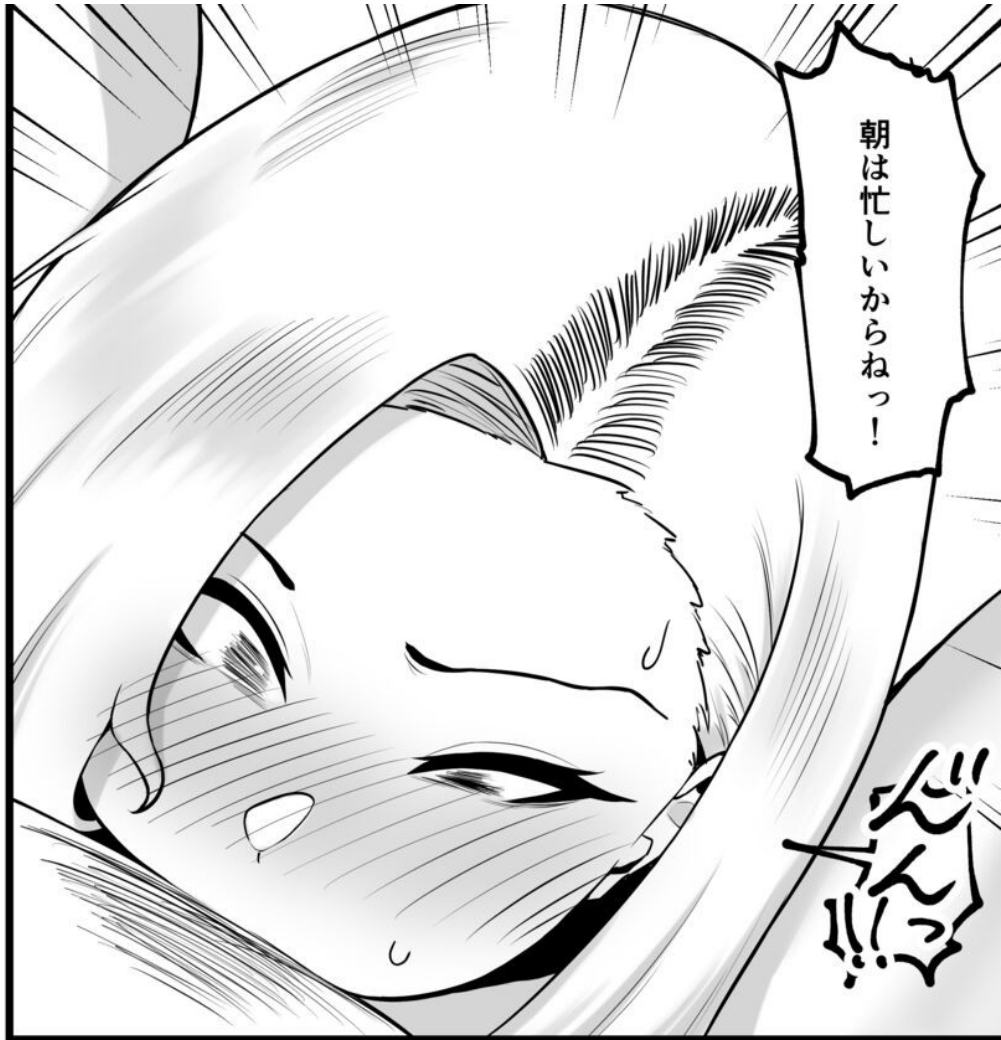


ん...





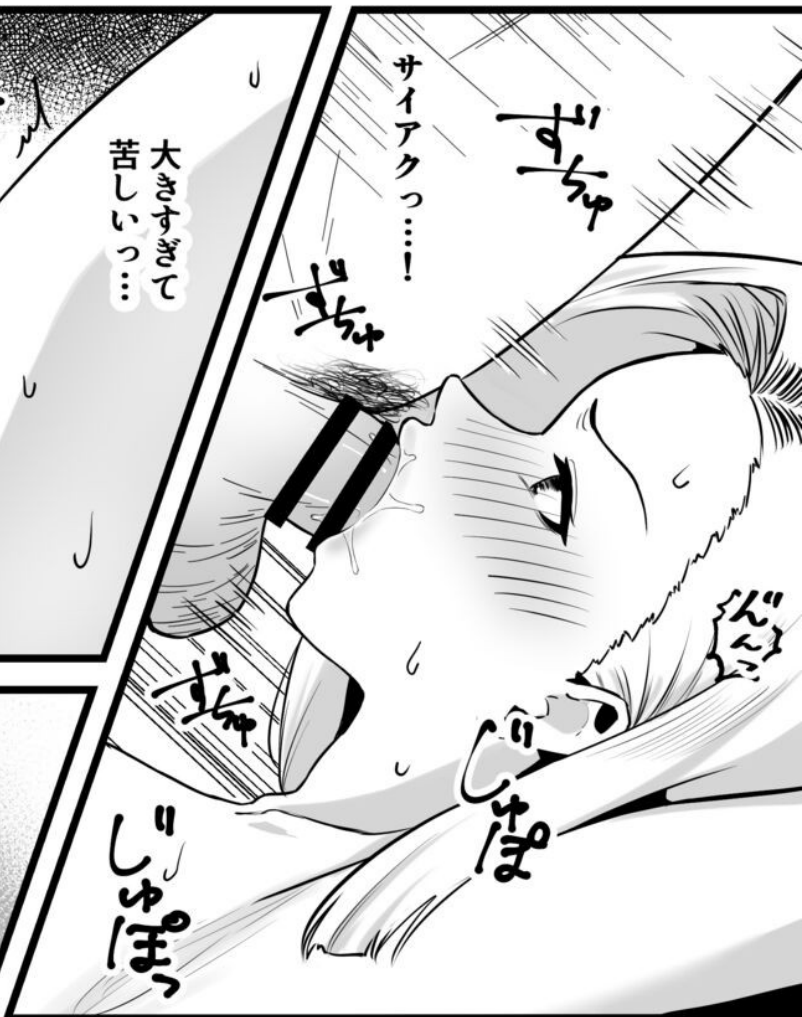




朝は忙しいからねっ！



大きすぎて
苦しいっ…



サイアクっ…！



昨日の精液が残ってて
ひどいニオイだし…



君も嫌じゃないんだろう？

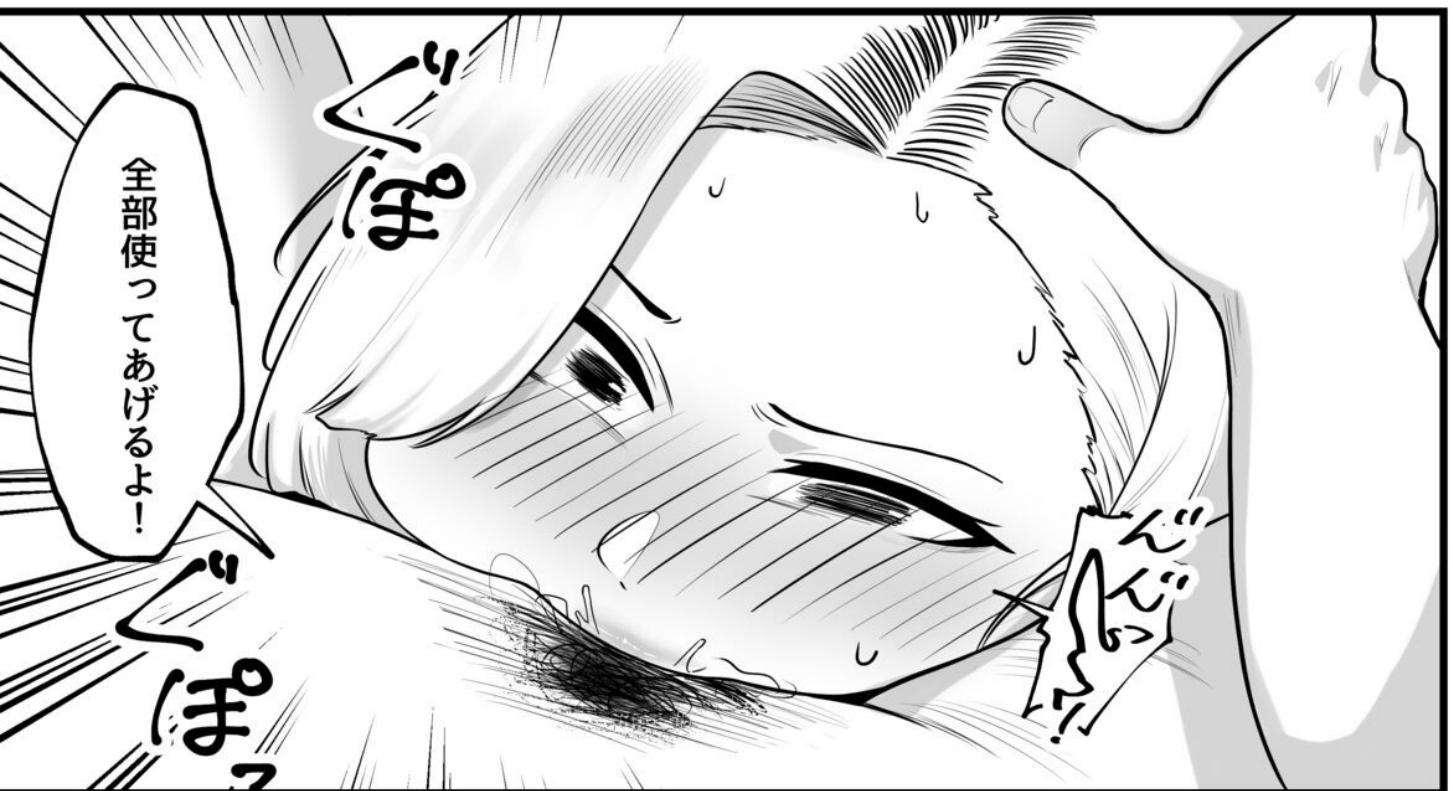
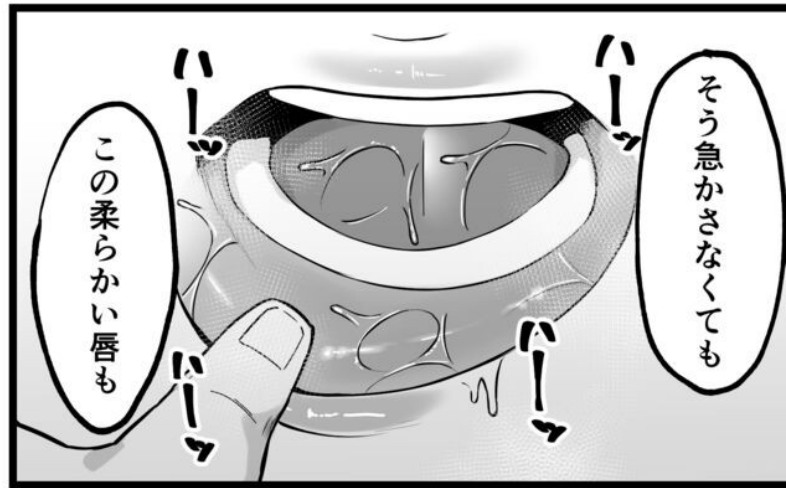
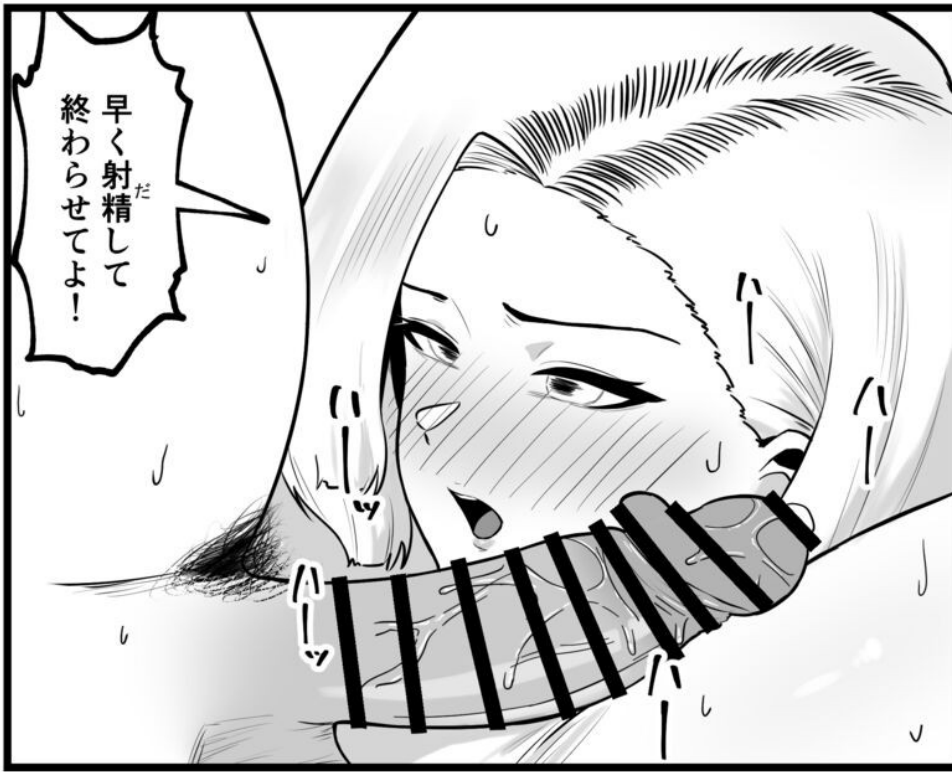
しっかり啜えこんでる
じゃないか

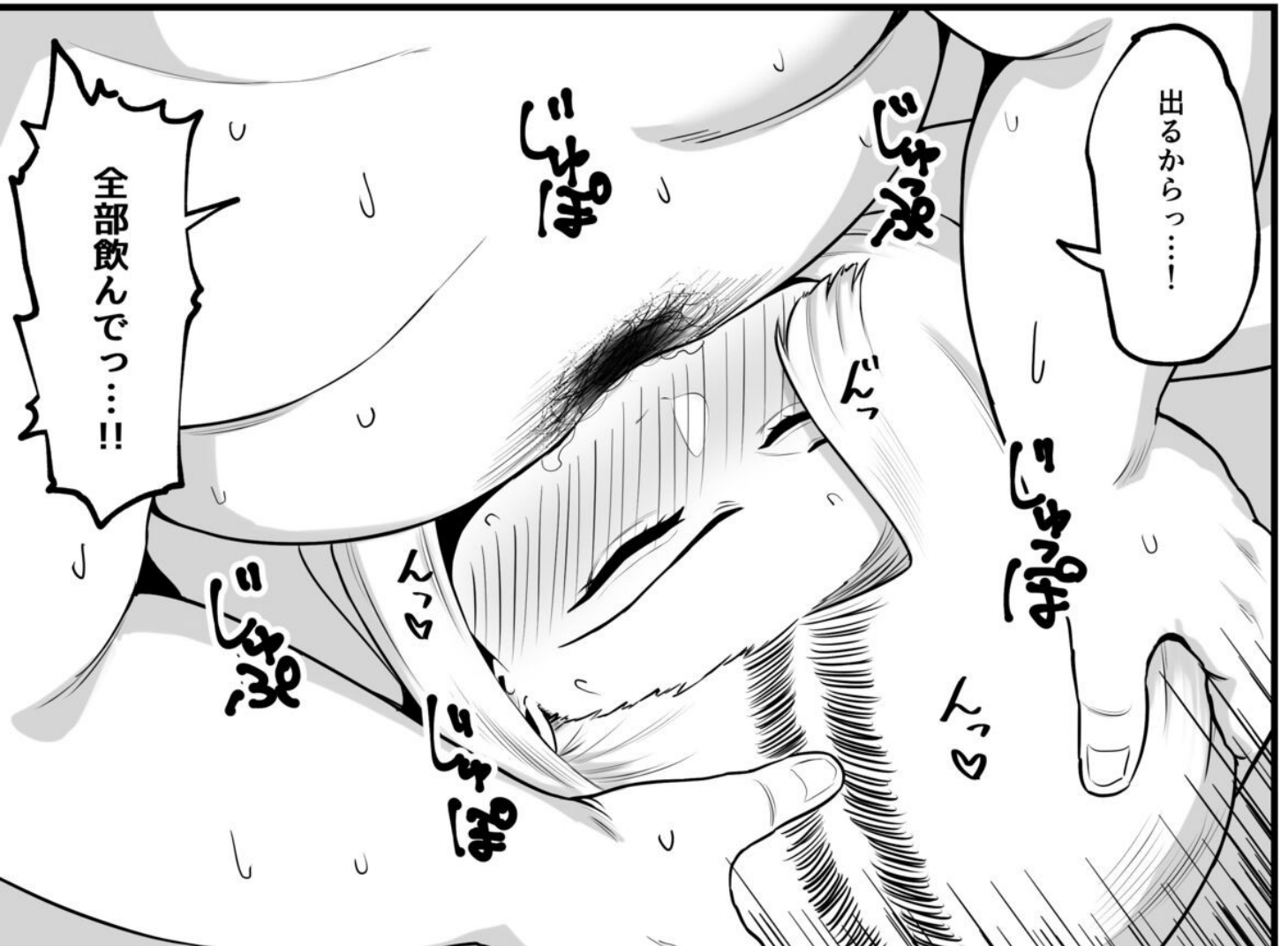


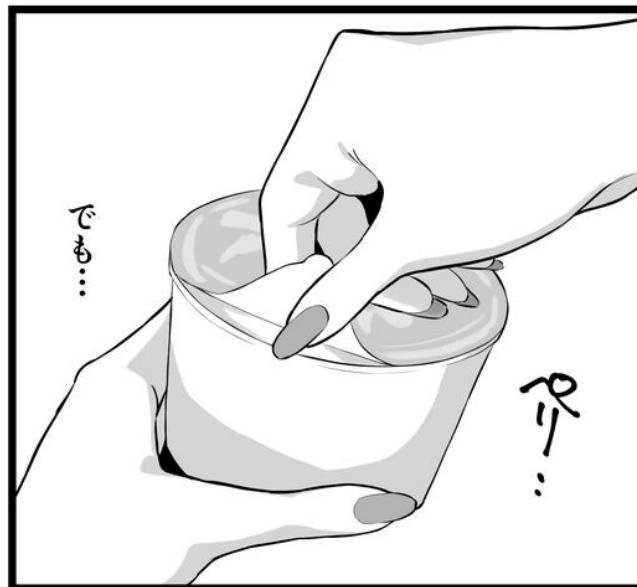
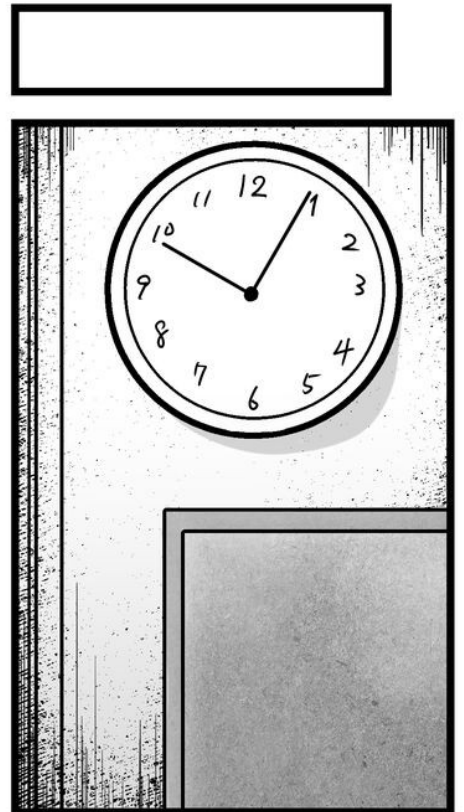
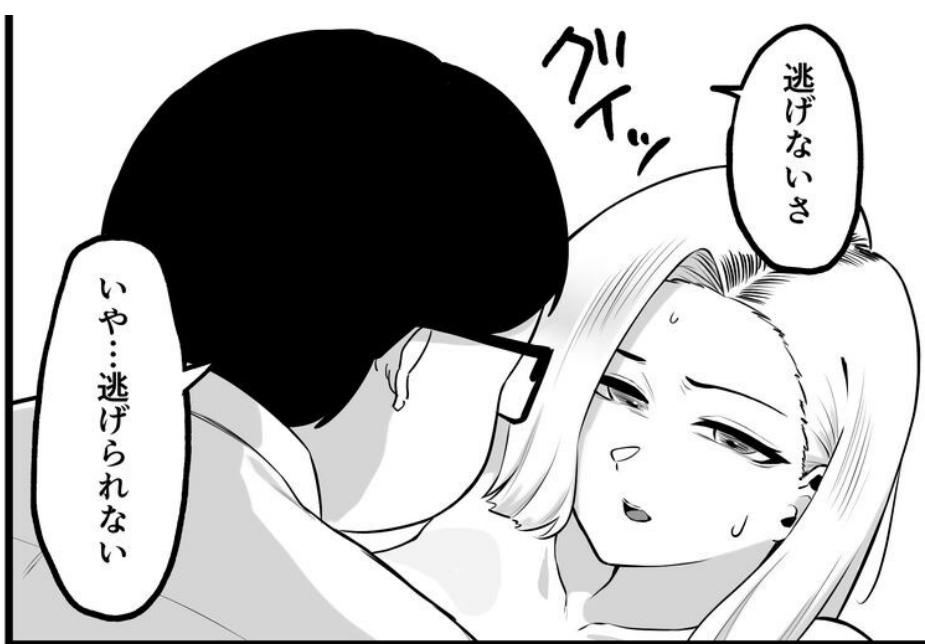
はへがっ
はんはのはんかっ！



ははっ
何言ってるか
わからないよ







あの子宮を突かれる感覚…

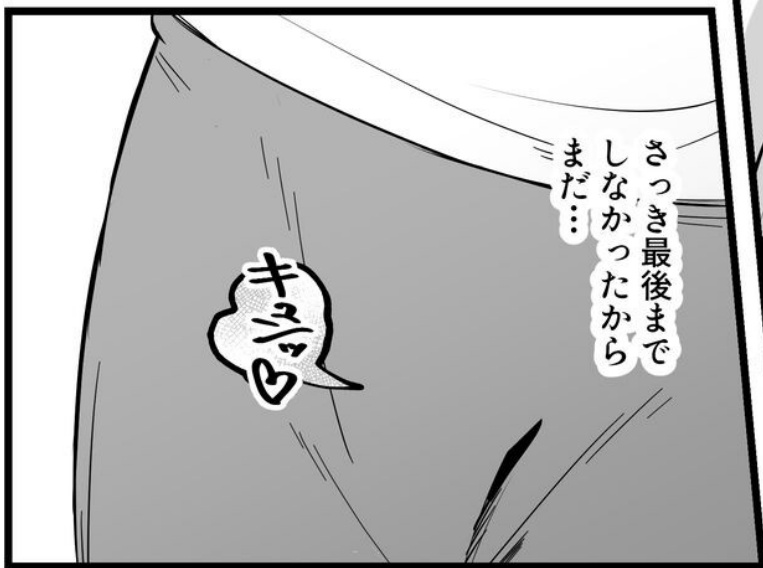


「オッ、ッ」



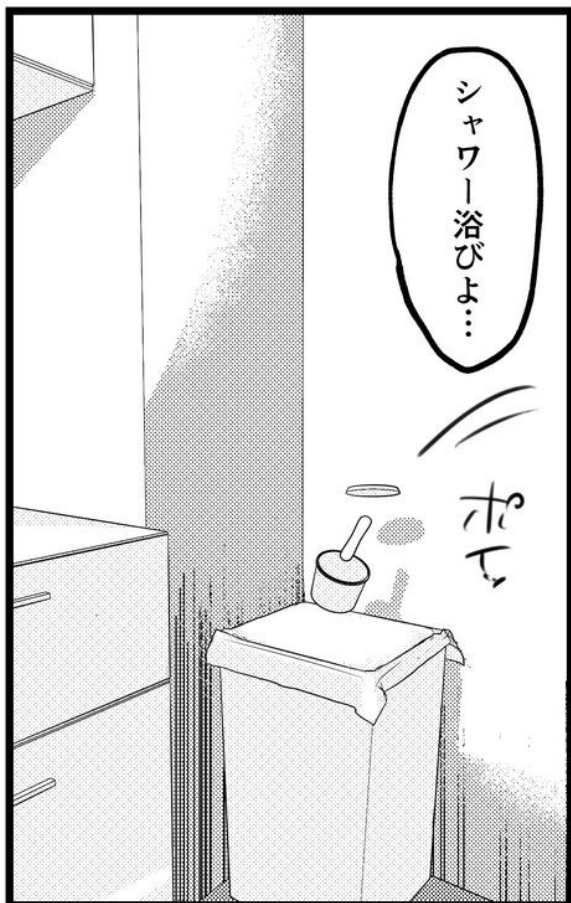
忘れようとするほど
鮮明になってくる…

「アッ」



さつき最後まで
しなかったから
まだ…

「キ」



シャワー浴びよ…

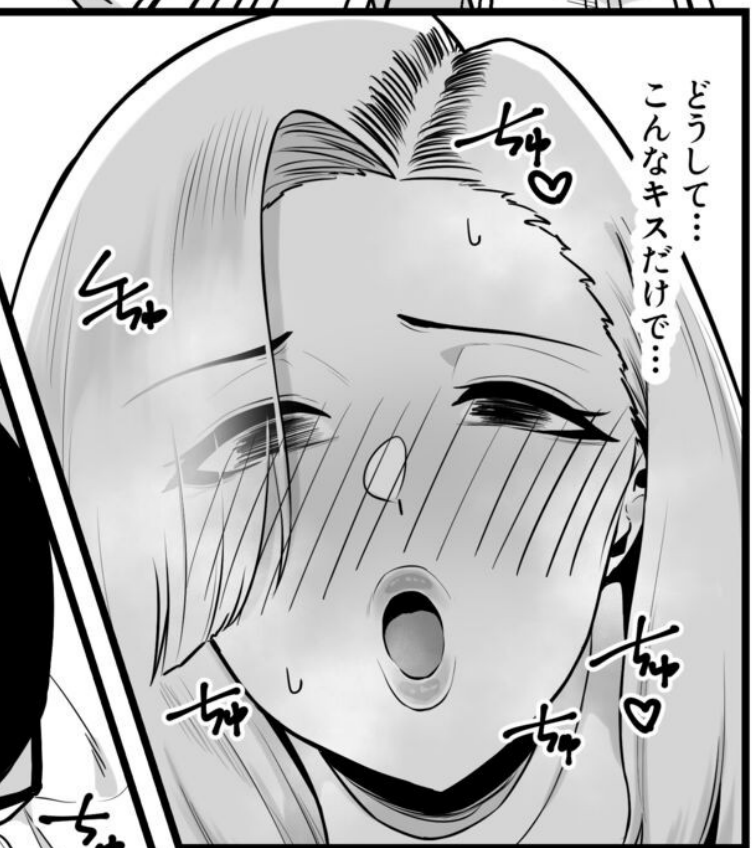
「ポッ」

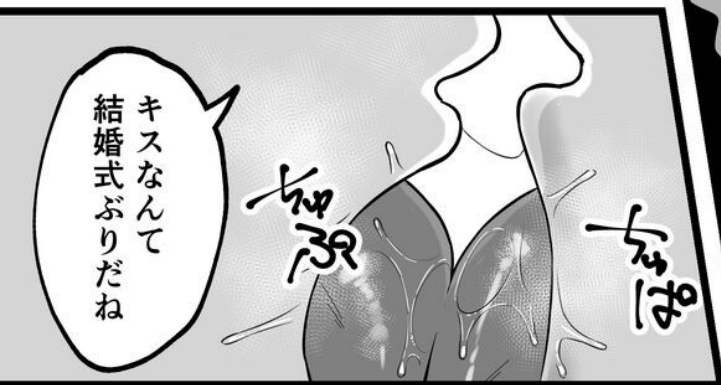


「はま」

どうしてこんなことになっちゃんたんだろ…



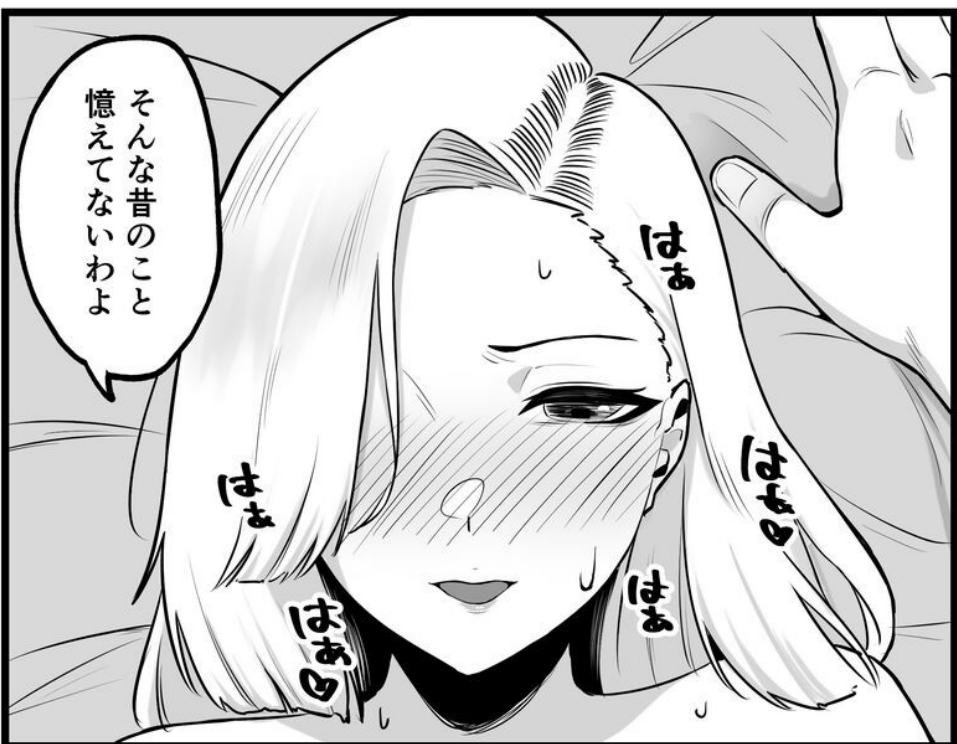




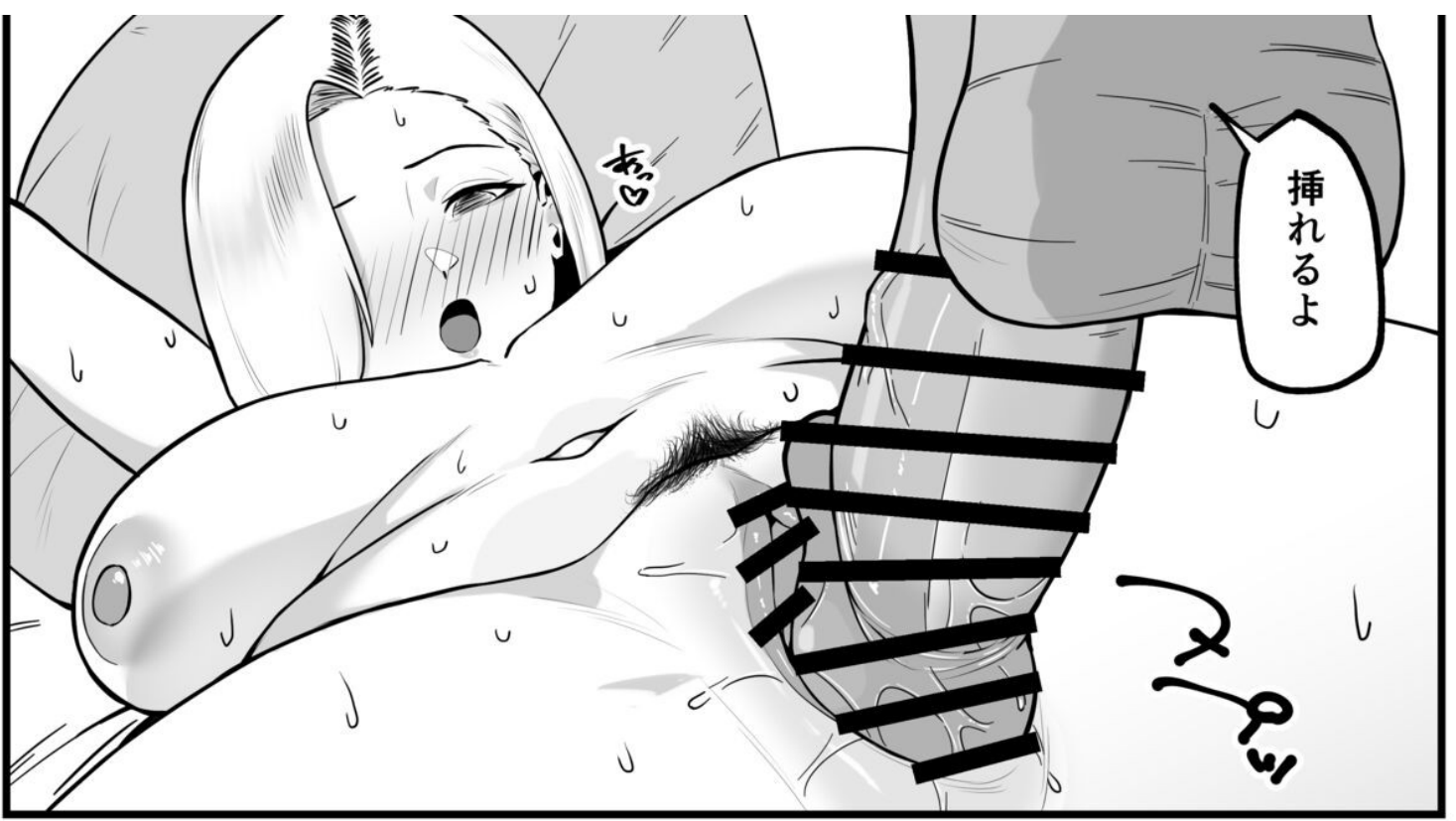
キスなんて
結婚式ぶりだね

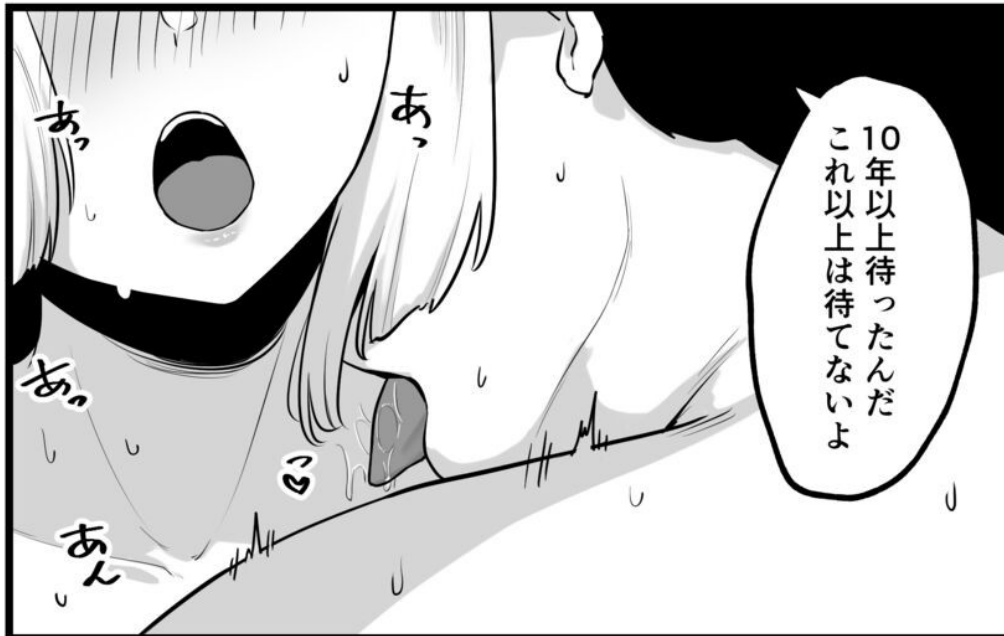
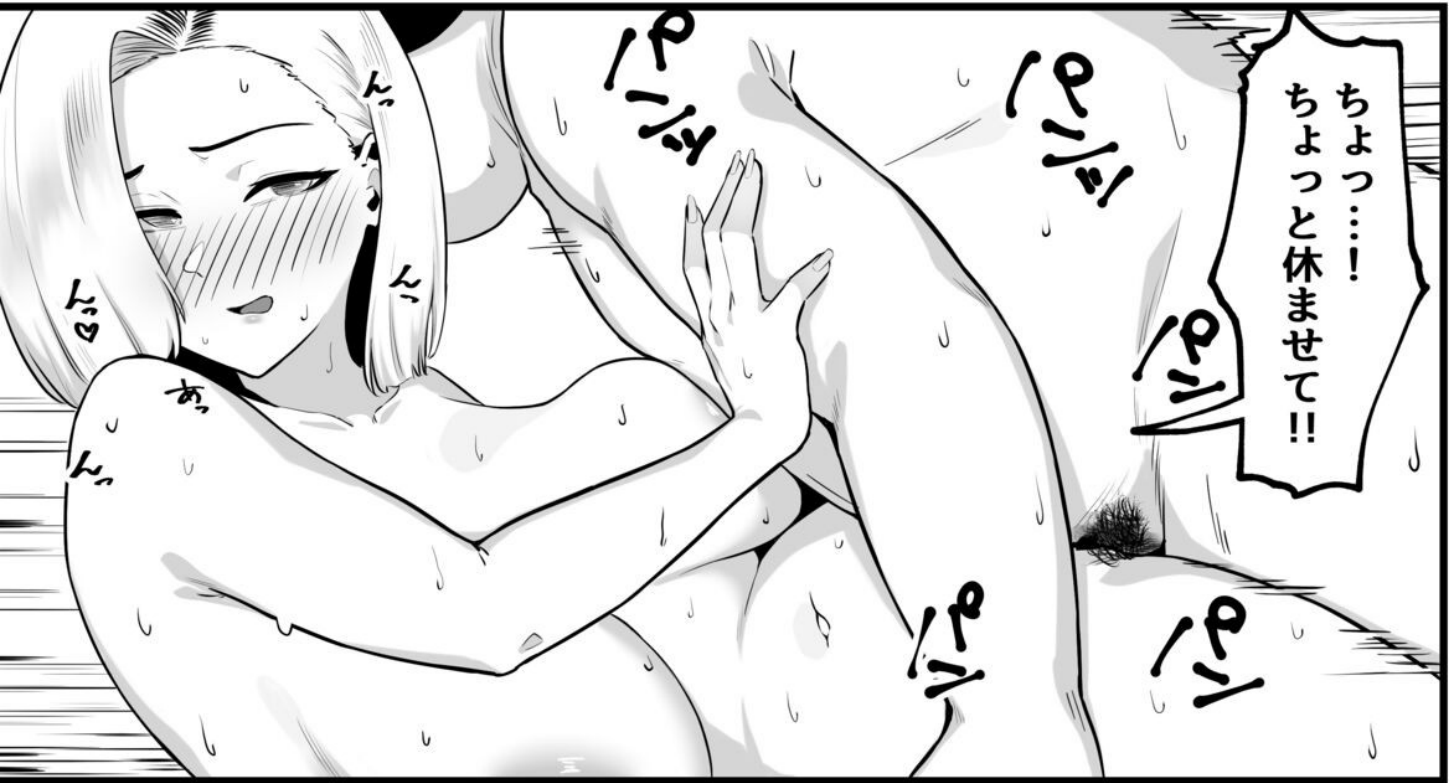
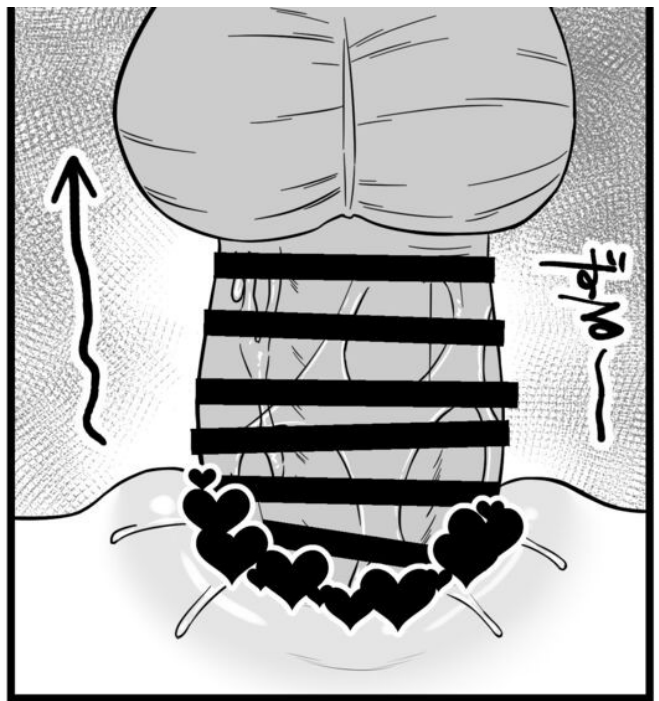


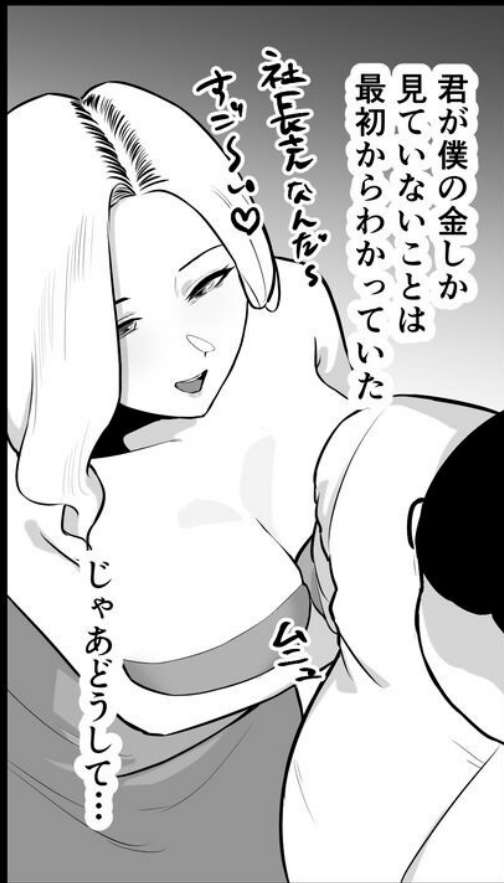
……っ！



そんな昔のこと
憶えてないわよ







君が僕の金しか
見ていないことは
最初からわかっていた

社長さんなんから
すっぴん♡♡♡

じゃあどうして…



一目見たときから
この女性は絶対自分のものにする
決めていたんだ

ミカブーす



一番最後に
僕のところへ
来てくれれば
よかったんだ

だから僕は待った
君のそばから男共が
いなくなるのを



あ…
ああたし…

ずっとあなたを
裏切っていたのに…



そして今君は僕を
受け入れてくれた

関係ないっ！

おっ

おっ

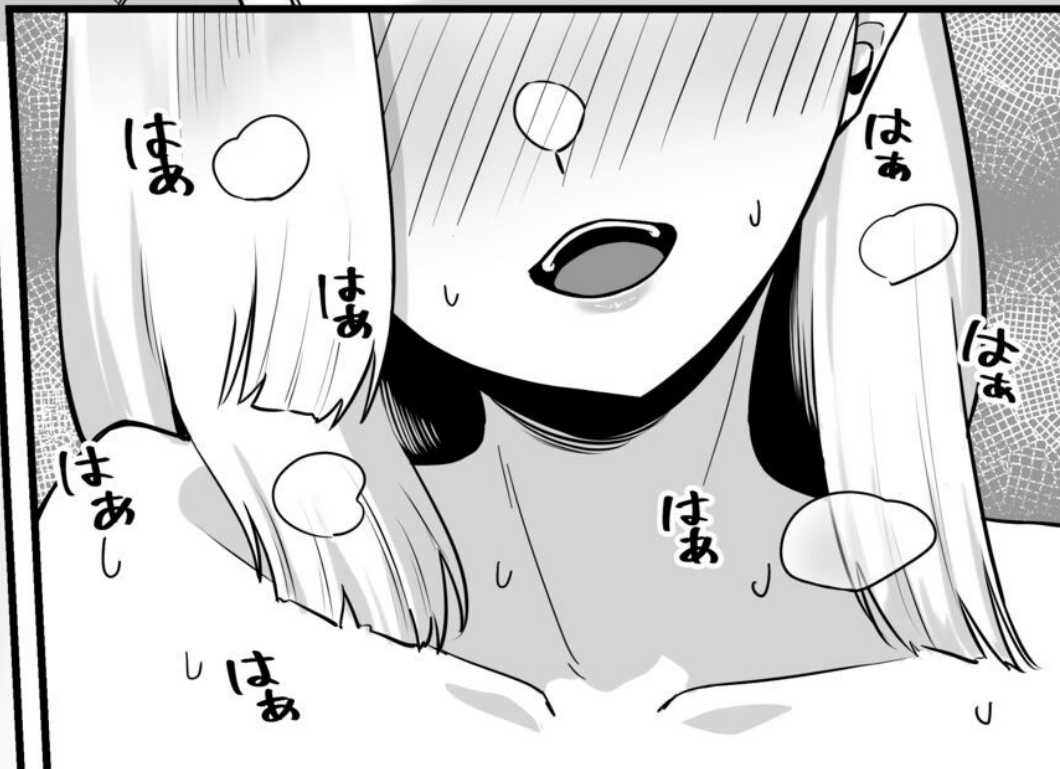
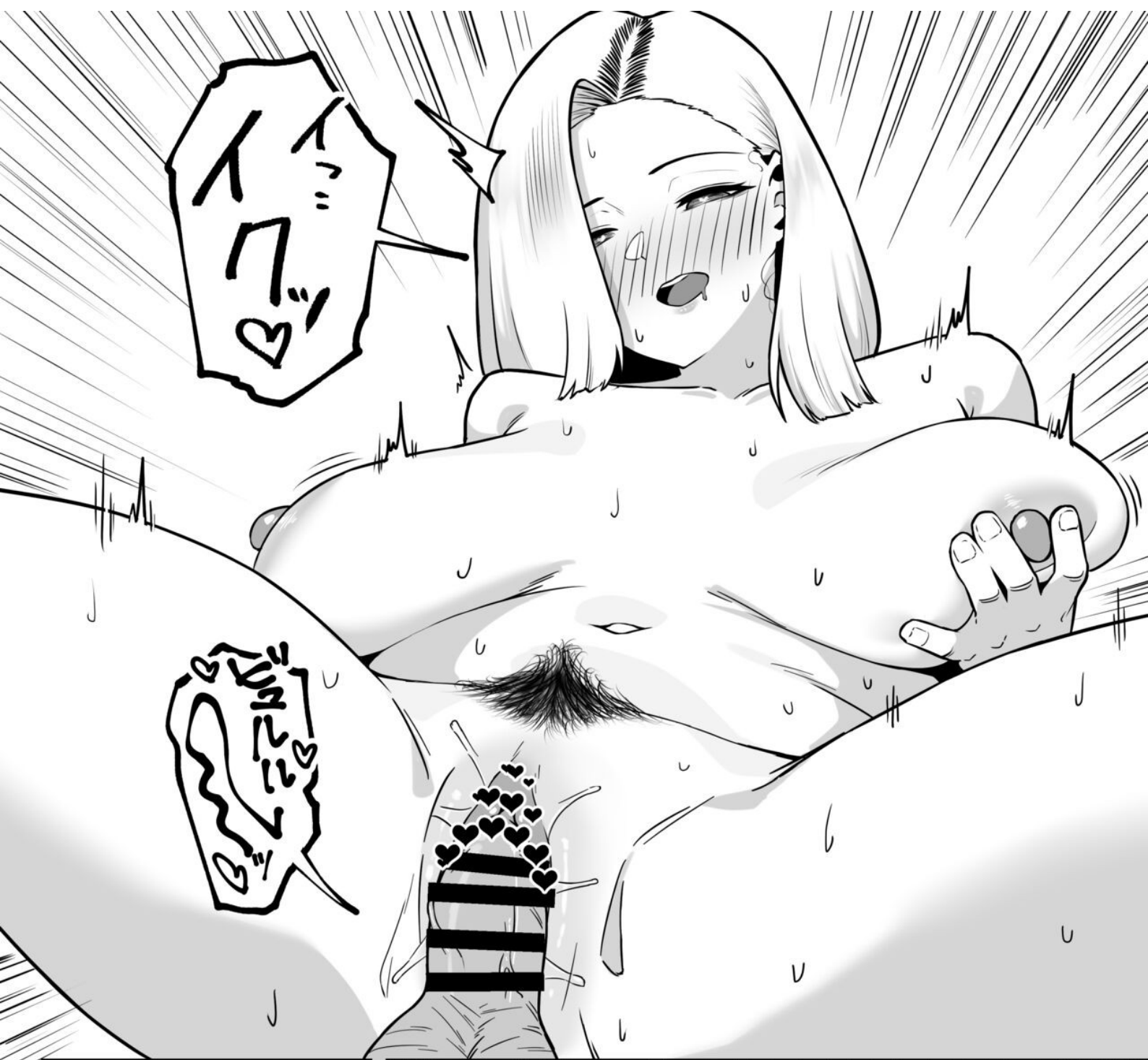
ああ…わかった…

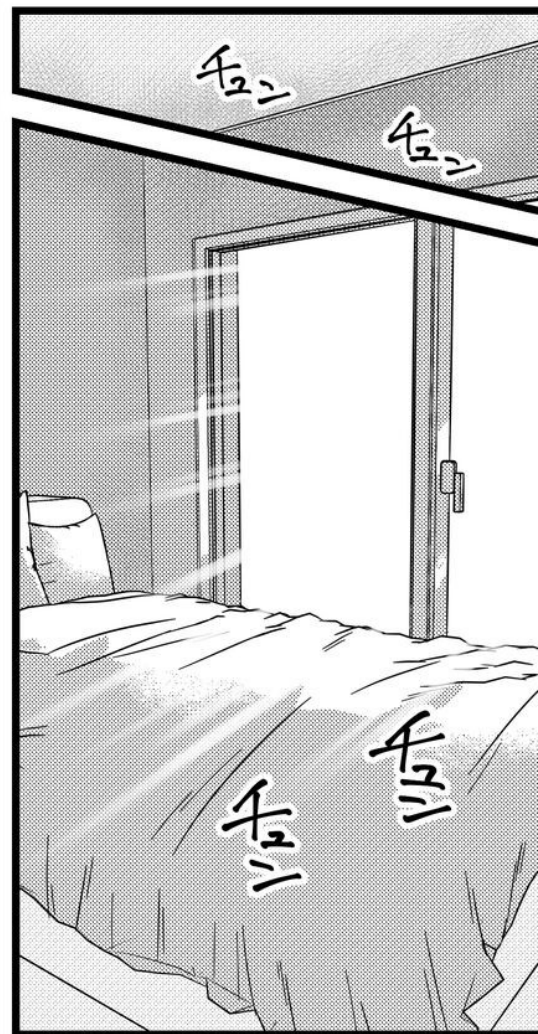
私この人じゃなきゃ
だめだったんだ…

あ
この人は一生私のそばにいて
私を愛してくれる
それで十分だったんだ…









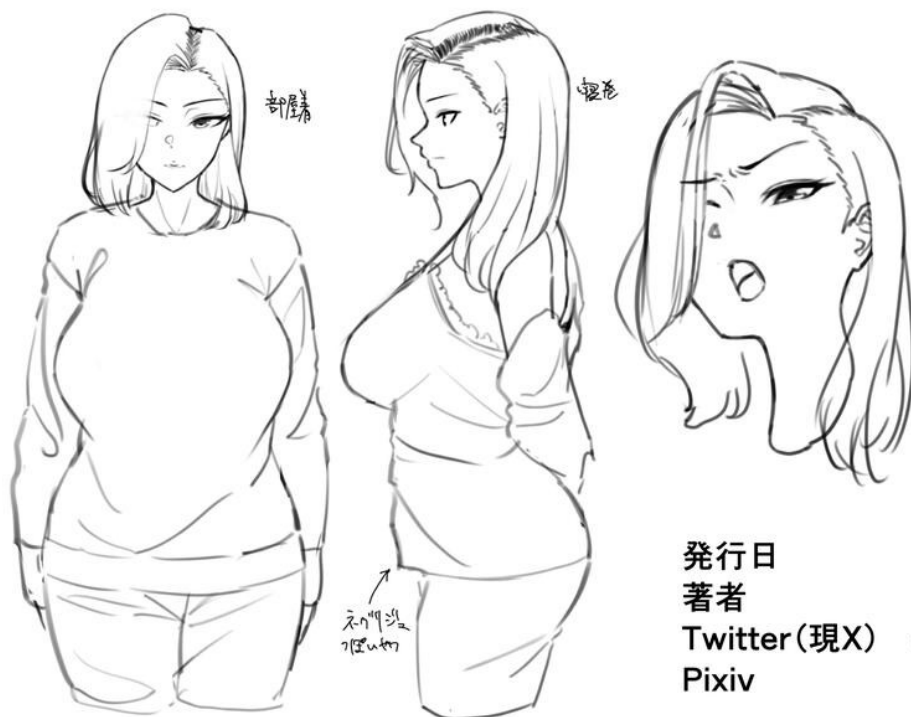
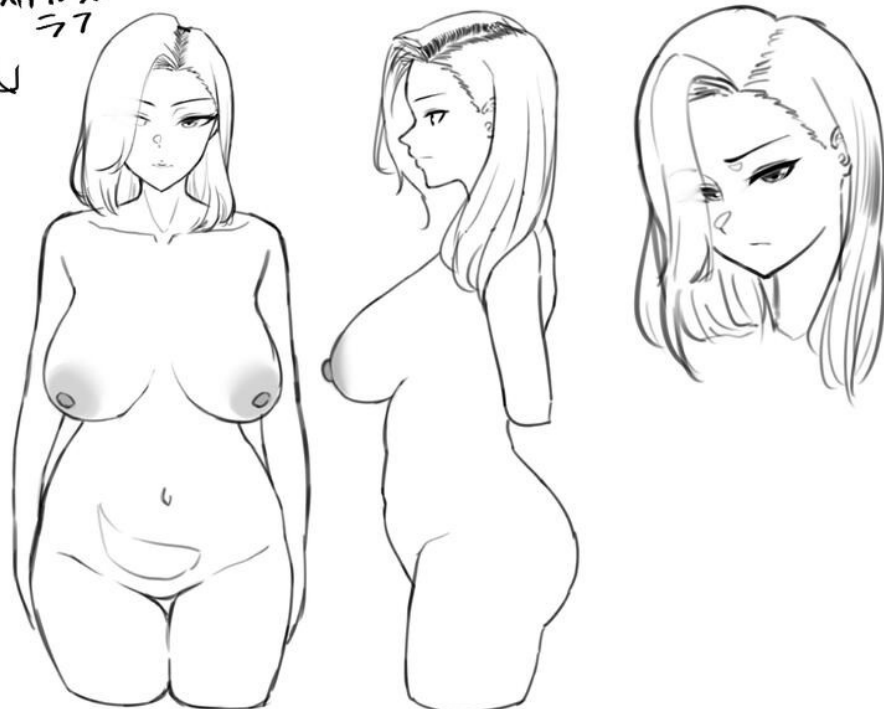
END

あとがき

4作目です。描き終わったあとに少しわかりにくかったなあ…
と思ったので次回はもっとわかりやすい内容にします！
漫画難しいです。

この度はご購入いただきありがとうございました！

初期設定
ラフ



発行日
著者
Twitter(現X)
Pixiv

2024年9月15日
日替わりメロン
@Kirch__OFF
pixiv.net/users/41550493

